

<平成25年度>

第1回 6月27日

1) 長期害虫データと年齢構成モデル

山中武彦

モデルは、自然界の現象を人間の理解できるレベルまで簡略化し、様々なテスト（シミュレーション）を繰り返すことで、より深い理解につなげる演繹的な手法である。生態学で用いられるモデルは一般に、自然現象を再現できる範囲内で最も単純なものが好まれる。しかし、時には個体のプロセスが個体群全体の挙動を決める鍵となる事例もあり、個体のキャラクターを無視してモデルを構築すると自然界の挙動と全く違う予測結果となってしまう。年齢（ステージ）構成を考慮したシミュレーションモデルは、室内実験などの詳細な個体データと野外で観察される複雑な個体数変動パターンをつなぐ、理論的な武器である。モデルの単純さを保持したまま、個体の成長段階の詳細を組み込むことが出来るからである。これまで保全生態学や進化生態学など、様々な分野で活発に利用されてきた。

本セミナーでは、昭和16年から続く病害虫発生予察事業の中で、半世紀以上も継続して記録されてきた茶害虫の記録を取り上げる。茶害虫の中でも特にチャノコカクモンハマキは、西南日本で特に発生が多い鱗翅目重要害虫で年5回の発生がある。まず、このチャノコカクモンハマキが60年以上もの間、年5回の世代が一つずつはっきりしたピークを形成して持続する世代分割という性質を持つことを示す。次に、年齢構成モデルを駆使してこの世代分割を評価し、年齢構成に起因する種内競争強度の違いと、繁殖期間の短さが引き起こしていることを解説する。冬に害虫の成長が止まることによって生育ステージが斉一化することや、薬剤散布や茶葉の摘葉等の人為的影響では説明できなかった。

セミナーでは、イントロとして山中がこれまで行ってきた簡単な研究紹介も行う。

<平成26年度>

インベントリー特別セミナー 4月17日

1) 土壌保全のルネッサンス —国際土壌年2015に向けて—

Ronald Vargas 氏 (FAO-GSP 事務局)

Vince Neall 氏 (ニュージーランド Massey 大学名誉教授)

2013年12月に開催された第68回国連総会において、毎年12月5日を世界土壌デー (World Soil Day)、2015年を国際土壌年 (International Year of Soils) として世界中で土壌への社会的関心を高めてゆくことが決議されました。この決議では、1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された環境と開発に関する国連会合 (地球サミット)、2002年に南アフリカで開催された持続可能な開発に関する世界サミットでの宣言を受けて、土壌を含む土地の良好な管理が、経済成長、生物多様性、持続可能な農業と食糧

安全保障、貧困撲滅、女性の地位向上に重要であり、気候変動への取り組みや水の確保、砂漠化や土地の劣化、干ばつへの対処に大きな影響を与えることを認めています。また、国連食糧農業機関（FAO）が主導する地球土壌パートナーシップ（GSP）に世界土壌デーと国際土壌年関連の活動を促進するよう求めています。GSPの地域構成体の一つにアジア土壌パートナーシップ（ASP）があり、日本はそのメンバーとして活動に参加しています。

本セミナーでは、FAO-GSP 事務局の Ronald Vargas 氏を迎え、世界土壌デーや国際土壌年 2015 の創設に至る国際的な背景や、2015 年に向けた活動計画をご紹介いただくとともに、我が国への活動参加への期待についてお話しいただきます。さらに、ニュージーランド Massey 大学名誉教授の Vince Neall 氏に、ニュージーランドの土壌保全制度をご紹介いただき、今後の我が国における土壌保全研究の方向性について議論します。なお、両氏のプレゼンテーションに引き続き、インベントリー展示館の土壌モノリスコレクション見学を予定していますので、両氏とともに皆さんの参加をお待ちしております。

第 1 回 9 月 29 日

1) 食物網の構築・崩壊機構に対する理論的研究

高橋大輔

群集動態を理解するうえで、その中の生物間相互作用を無視することはできない。この生物間相互作用は、進化的時間スケールにおいて動的に変化する。この相互作用の動態を含めて解析することで、進化動態が群集動態に与える影響を考察することができる。本研究では食う食われる関係に注目し、理論モデルを用いることで、生物間相互作用の進化によって食物網構造が構築・崩壊するプロセスを解析した。解析から、最も低い栄養段階の種とそれを直接消費する種の動態が、群集全体の構築及び崩壊に関して大きな影響を持っていることが明らかになった。

2) 葉の上下面における環境異質性がダニの捕食-被食関係に及ぼす影響

須藤正彬

農業害虫であるハダニ類や、その天敵であるカブリダニの多くの種は植物葉の下面のみに生息し、太陽光紫外線（UVB）や風雨、（ギルド内）捕食者を回避するための適応と考えられてきた。しかしチャノヒメハダニやミカンハダニといった一部の植食性ダニは、葉の上下両面に分布し産卵する。カブリダニでは餌資源の分布、ギルド内捕食者および環境ストレスからの回避の全てにおいて、葉の上面利用はデメリットのみを有する。このとき植食者は、もしも葉表の餌の質が葉裏に対して劣っておらず、各季節に応じた UVB 等の環境ストレスに対する十分な耐性を有していたならば、カブリダニの少ない上面に留まることで捕食回避上の利益を享受するだろう。本発表ではこのギルド間差異に着目し、チャノヒメハダニの捕食回避および季節的個体群消長に、葉における上下面という異質なハビタットの存在が果たす役割を検討する。

第2回 10月27日

1) クイーンズ大学 (カナダ) での在外研究

山中武彦

昨年11月から半年滞在したカナダ、クイーンズ大学での在外研究「長期病害虫予察データから、害虫大発生メカニズムを解明する」の内容とクイーンズ大学での研究生活について発表します。詳細は、下記 web サイトの記事をご覧ください。

「農業と環境：クイーンズ大学 (カナダ) での在外研究」

2) カナダ自然博物館 (オタワ/ガティノー) での在外研究

吉武啓

昨年11月から約7ヶ月間滞在したカナダ自然博物館での在外研究「カナダ自然博物館における植食性ゾウムシ類の調査・研究およびコレクション管理システム、他機関との連携やアウトリーチプログラムに関する研修」の内容とカナダの首都圏での生活について発表します。詳細は、下記 web サイトの記事をご覧ください。

「農業と環境：カナダ自然博物館 (オタワ/ガティノー) に滞在して (在外研究報告)」

第3回 2月17日

物質循環研究領域 & インベントリーセンター合同セミナー

「農耕地の温室効果ガスをマネジメントする～データベースと Web ツールの話～」

このセミナーは、農林水産省農林水産技術会議事務局の平成26年度国際共同研究推進事業「農業生産の環境影響総合評価システムの構築に係る海外との共同研究に向けた調査」により外国人招へい旅費の支援を受けて開催するものです。

プログラム：

13:30-13:40 Opening address (Dr. Ayaka W. Kishimoto-Mo)

13:40-14:20 1. “Coordinated agricultural research through GRACEnet to address our changing climate - lessons from GRACEnet and future vision for MAGGnet”

Dr. Mark A. Liebig (USDA-ARS Northern Great Plains Research laboratory)

14:20-15:10 2. What is the “data base integration“ ?

Dr. Takeshi Osawa (NIAES, Natural Resources Inventory Center)

15:30-16:10 3. “Croplands Research Group of the Global Research Alliance on Agricultural Greenhouse Gases”

Dr. Alan J. Franzuebbers (USDA-ARS Soil Southeast Area)

15:30-15:50 3. “Croplands Research Group of the Global Research Alliance on Agricultural Greenhouse Gases”

15:50-16:10 4. “Flush of CO₂ following rewetting of dried soil as a biological indicator of soil health”

16:10-16:30 General discussion

<平成27年度>

第1回 5月20日

1) ライフサイクル影響評価(LCIA)手法の開発

湯龍龍 (Longlong TANG)

演者は今年度より農業環境技術研究所に入所し、農業環境インベントリーセンターにおいて、農業の環境影響と便益を網羅的に評価するエコバランス評価手法の開発に参画する。これまで演者はLCIA (Life cycle impact assessment)手法の開発に係る研究開発に従事してきた。そこで本セミナーでは、博士研究を含むこれまでの研究、LCIAによる環境影響間のトレードオフ解析の課題とその応用問題について話題を提供し、今後のエコバランス評価手法開発の一助としたい。

第2回 6月17日

1) 持続的な食料生産のために：今後の研究でやりたいこと

白戸康人

2) 農業に係る環境行政の現状と今後の研究に求められるもの

稲生圭哉

第3回 8月19日

1) 土壌要因による作物の放射性セシウム濃度の推定

神山和則

2) 統計情報から作成した土地利用データおよびその活用

大澤剛士

第4回 10月28日

1) 土壌-ヒト関係の再認識を促す土壌保全制度論

大倉利明

2) 世界20地域の外来・在来昆虫リストを比較

山中武彦

第5回 10月29日

物質循環研究領域&インベントリーセンター合同セミナー

1. Opening address- Explain "Cool Veg" and the connection between FEAST and NIAES

須藤重人 (物質循環研究領域)

2. FEAST: Lifeworlds of sustainable consumption and production: Agrifood systems in transition

Dr. Steven McGreevy (RIHN, Research Institute for Humanity and Nature, Kyoto)

3. Life cycle assessment and full cost assessment of environmental impacts of rice cultivation -A

case study of an agricultural production corporation in Ibaraki prefecture-
レオン愛

4. The challenges of assessing dynamic agricultural heritage systems

Dr. Daniel Niles (RIHN, Research Institute for Humanity and Nature, Kyoto)

第6回 11月16日

1) The dynamics of spatially-extended populations: Spatial synchrony and spatial correlation functions (空間的に広がりを持つ個体群の動態：空間同調性と自己相関関数による解析)

Dr. Ottar N. Bjornstad 博士 (ペンシルベニア州立大学、米国)

空間的に広がりを持つ個体群の動態：空間同調性と自己相関関数による解析 (The dynamics of spatially-extended populations: Spatial synchrony and spatial correlation functions)
空間的に広がりを持って生活する生物の集団：メタ個体群は、近い集団ほど似た動態＝同調性を示し、距離が離れるほど同調性は低くなる。Bjornstad 博士から、どのようなメカニズムで空間同調性が生まれるのか、生態学的なメカニズムを考察すると同時に、空間同調性の程度を定量化する統計手法について講義していただく。

2) Creating virtual life histories in real experimental populations to understand ecological dynamics

(実験室個体群に仮想的な生活史イベントを組み込むことで個体群動態のメカニズムを解明する)

Dr. William A. Nelson (クィーンズ大学、カナダ)

生物個体数の変化を観察すると、安定、周期的変動、カオスの挙動と、豊かな変動パターンを示す。こうした個体群動態は、種内競争 (対称・非対称)、種間競争 (捕食-非食、競争等)、といった密度制御メカニズムによって生み出されていることが数理モデルやシミュレーションなどによって示されている。しかし、モデルの挙動と実際の生物の個体群動態を比較する手法は、あくまで傍証を提供するに過ぎない。Nelson 博士は、実際の実験室個体群に人為的な生活史イベントを組み込むことによって、どのような個体群動態が生み出されるか観察している。最近のミジンコ実験室個体群を例に講義していただく。

第7回 11月19日

1) 食用きのこを食害する蛾類の分類学的研究、鱗翅類 DB の作成と今後の展望

吉松慎一

2) サツマイモの害虫ゾウムシの個体群レベルでの簡易識別技術の確立に向けて

吉武 啓

第8回 2月18日

1) 包括的土壌分類による日本土壌図の作成

高田裕介

わが国では、これまで農地と林野で異なる調査分類法により土壌図が作成され、それらを継ぎ当てて全国土の土壌図として用いてきた。そのため、わが国の土壌の種類ごとの分布面積や土壌炭素賦存量などの土壌資源インベントリを包括的に評価することは困難な状況であった。そこで本研究では、土地利用に左右されず土壌分類可能な包括的土壌分類を用いて、既存の文献データおよび現地土壌調査の結果などを統一的にデータベース化して、新たな日本土壌図を作成した。

2) 土壌分類関係研究の現在まで

小原 洋

農環研でやってきた土壌分類関係の研究の流れを概観する予定

3) 近年新種記載したカメムシ類について

中谷至伸

カメムシ目のマダラナガカメムシ科およびカスミカメムシ科について分類学的研究を行ってきたところ、近年日本および東南アジアから何種かの未記載種を発見し、これらを新種として記載した。具体的には日本産のヒメナガカメムシ属分類学的再検討を行い1新種を含む5種の確認をした。また、マレーシア及びインドネシアから記載したヒョウタンカスミカメムシ属についても紹介する。

研修会：土壌炭素調査法検討会

開催趣旨：農林水産省生産局「農地土壌炭素貯留等基礎調査事業」の受託者である公設・地方独法等の農業試験研究機関に在籍し、本調査事業を実施している土壌肥料研究者等を対象に、本調査事業に必要な知識や調査分析手法等を確認し、作物生産及び環境保全等の広い視野に立った土壌調査のための検討会、講習会を開催する。

1. 平成25年度土壌炭素調査法検討会

開催日時：平成25年11月14日（木）～15日（金）

開催場所：（独）農研機構畜草研那須研究拠点

共 催：（独）農業環境技術研究所、（独）農研機構・中央農業総合研究センター

参加者：91名

内 容：

1) 土壌調査法現地検討会

平成25年11月14日（木） 9:00～16:00

農研機構畜草研那須研究拠点 黒ボク土および褐色低地土

講師：神山和則・小原 洋・大倉利明・高田裕介（農環研）久保寺秀夫・瀧山律子（中央農研）、寶示戸雅之（北里大）、松浦庄司（畜草研）

2) 室内検討会

平成25年11月15日（金） 9:00～12:00 畜草研那須研究拠点 GG ホール

- ・土壌断面調査結果のとりまとめ 大倉利明（農環研）
- ・土壌分類法・土壌調査マニュアルについて 小原 洋（農環研）
- ・草地土壌・炭素に関する話題 寶示戸雅之（北里大学）
- ・2010～2012年度の草地調査結果について 松浦庄司（畜草研）

現地研修は、那須研究拠点の概要の中尾誠司上席研究員による紹介から始まり、その後4班に分かれ、黒ボク土および褐色低地土を対象として断面調査を行った。各班について2名の講師を配置し、順番に黒ボク土（放牧地）、褐色低地土（採草地）それぞれについて2断面、計4断面を調査する方式を採った。なお、黒ボク土、褐色低地土ともに、微妙な地形的位置の違いにより土壌断面形態が異なり、地形との対応を観察できた。

室内研修では、前日の土壌調査で収集した断面形態情報の整理・総括、炭素調査事業で使用する土壌分類法・土壌調査マニュアルについての説明、草地土壌の特徴と土壌炭素の動態に関する研究知見の紹介、過去の事業で得られた調査結果の概要報告が行われた。

2. 平成26年度土壌炭素調査法検討会

開催日時：平成26年10月9日（木）～10日（金）

開催場所：鳥取県鳥取市

共 催：(独) 農業環境技術研究所、(独) 農研機構・中央農業総合研究センター、
土壤保全調査事業全国協議会

協 力：鳥取県農業試験場

参加者：91名

内 容：

1) 土壤炭素調査法検討会

平成26年10月9日(木) 8:40～17:00

①鳥取県岩美郡岩美町大谷地区 水田 土壤名「礫質湿性未熟低地土」

②鳥取市湯山地区 果樹園跡 土壤名「細粒質湿性褐色森林土」

講師：神山和則・小原 洋・大倉利明(農環研)、久保寺秀夫・湊山律子(中央農研)

2) 室内検討会

平成26年10月10日(金) 9:00～12:00 とりぎん文化会館第一研修室

- ・温室効果ガス関係の最近の情勢等について 八木一行(農環研)
- ・土壤調査現地検討のまとめ等 大倉利明(農環研)
- ・鳥取県の農耕地土壤の現状 坂東 悟(鳥取農試)
- ・土を見る目の普遍性と特殊性～日本と乾燥地域の土壤を比較して～
山本定博(鳥取大学)

現地圃場は鳥取県農業試験場に設定していただいた。参加者は91名となったため、2班に別れ大型バス2台にそれぞれ分乗し、午前・午後別々に2圃場において土壤断面調査法、土壤分類法及び土壤試料採取法について現地検討を行った。今回の2圃場は、それぞれ人為的な改変を受けた土壤で、近年の現地調査検討会とは異なるケースで土壤調査法の検討を実施することが出来た。また、昼食後、鳥取県の特徴的な農業である、砂丘ラッキョウ畑の視察も行った。2日目の室内検討会では、農環研から最近情勢と現地検討のまとめ、鳥取県農業試験場から鳥取県の農耕地の現状、また鳥取大学の山本教授からは土壤の断面形態・土壤調査でわかる性質が海外の塩類集積問題を理解する上の重要性について話題提供があった。

3. 平成27年度土壤炭素調査法検討会

開催日時：平成27年10月1日(木)～2日(金)

開催場所：高知県高知市、南国市、香南市

共 催：(研) 農業環境技術研究所、(研) 農研機構・中央農業総合研究センター、
土壤保全調査事業全国協議会

協 力：高知県農業技術センター

参加者：70名

内 容：

1) 現地調査法講習会

平成27年10月1日(木) 8:50～17:00

①高知県農業技術センター 水田

②高知県香南市野市町 転換畑

講師：神山和則・小原 洋・大倉利明・高田裕介(農環研)、
久保寺秀夫・湊山律子(中央農研)

2) 室内検討会

平成 27 年 10 月 2 日 (金) 9:00~12:00 三翠園会議室

- ・ 土壌の有機物管理と炭素貯留 白戸康人 (農環研)
- ・ 土壌調査現地検討のまとめ等 神山和則 (農環研)
- ・ 高知県の農耕地土壌の現状 松岡俊二 (高知県)
- ・ これまでに調査してきた日本の土壌 ~赤い土から、黒い土まで~

櫻井 克年 (高知大学)

現地圃場は高知県農業技術センターに設定していただいた。参加者は 70 名となったため、2 班に分れて大型バス 2 台にそれぞれ分乗し、午前・午後別々に 2 地点 3 圃場において土壌断面調査法、土壌分類法及び土壌試料採取法について現地検討を行った。今回の 2 地点のうち高知県農業技術センター内の 2 圃場は人為的な改変を受けた低地土壌で、もう一カ所の野市圃場は作土下に有機物の多い黒ボク質の土層が現れる土壌で、複雑な断面で土壌調査法の検討を実施することが出来た。

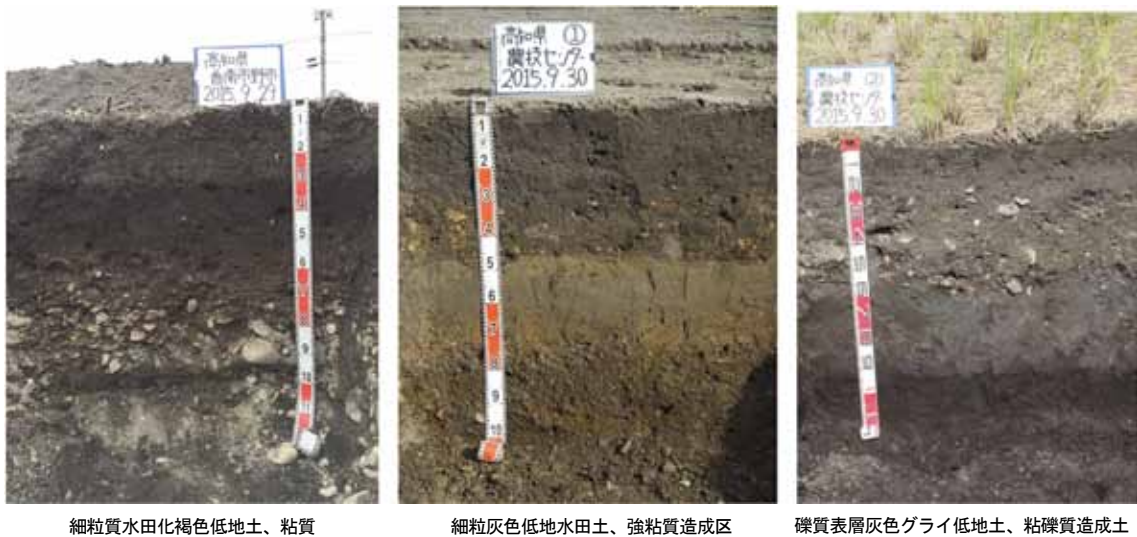
2 日目の室内検討会では、農環研から最近情勢と現地検討のまとめ、高知県から鳥取県の農耕地の現状、また高知大学の櫻井副学長からは様々な日本の土壌の断面形態について話題提供があった。



図1：草地試験場内（黒ボク土）での研修の様子と褐色低地土の土壌断面（平成 25 年度）



図2：鳥取県岩美町大谷地区の水田（大豆）における研修の様子と礫質湿性未熟低地土の土壌断面（平成26年度）



細粒質水田化褐色低地土、粘質

細粒灰色低地水田土、強粘質造成区

礫質表層灰色グライ低地土、粘礫質造成土



図3：高知県香南市野市町における研修の様子と様々な土壌断面（平成27年度）

研究成果の発表

(1) 査読論文

表 題	著 者	雑誌名(出版元)	巻(号)	頁	発行年月
Taxonomic Review of the Genus <i>Rhinoncomimus</i> (Coleoptera: Curculionidae: Ceutorhynchinae) with description of a new species from Yunnan	Junhao Huang, Hiraku Yoshitake, Runzhi Zhang & Motomi Ito,	China. Zootaxa	(2)	143-166	2013
Monitoring records of plant species in the Hakone region of Fuji-Hakone-Izu National Park, Japan 2011-2010	Takeshi Osawa	Ecological Research	28	541	2013
Deviations between observed and RothC-simulated $\Delta^{14}C$ values despite improved IOM initialization	Y. SHIRATO, M. JOMURA, R. WAGAI, M. KONDO, K. TANABE, M. UCHIDA	EUROPEAN JOURNAL OF SOIL SCIENCE	64(5)	576-585	2013
A biological note on <i>Bagous bipunctatus</i> (K?no) (Coleoptera, Curculionidae, Bagoinae)	Hiraku Yoshitake & Atsuto Yoshida,	Japanese Journal of Systematic Entomology	19(2)	217-220	2013
Long-term change in the application rate of on-farm organic amendments in Japanese upland fields	Ai LEON, Kazunori KOHYAMA, Toshiaki OHKURA, Yusuke TAKATA, Hiroshi OBARA	JARQ-JAPAN AGRICULTURAL RESEARCH QUARTERLY	47(4)	377-387	2013
Distinguishing the externally similar imagines of <i>Tiracola plagiata</i> and <i>T. aureata</i> whose forewing lengths were shown to overlap (Lepidoptera, Noctuidae)	Watabiki, D. and Yoshimatsu, S.	Lepidoptera Science	64(3)	123-127	2013
Areas of increasing agricultural abandonment overlap the distribution of previously common, currently threatened plant species	Takeshi Osawa, Kazunori Kohyama, Hiromune Mitsuhashi	PLoS ONE	8(11)	DOI: 10.1371	2013
Changes in soil available-nutrient stores and relationships with nutrient balance and crop productivity in Japan	Shin-Ichiro MISHIMA, Sonoko Dorothea KIMURA, Sadao EGUCHI, Yasuhito SHIRATO	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	59(3)	371-379	2013
National-scale estimation of methane emission from paddy fields in Japan: Database construction and upscaling using a process-based biogeochemistry model	Michiko HAYANO, Tamon FUMOTO, Kazuyuki YAGI, Yasuhito SHIRATO	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	59(5)	812-823	2013
New <i>Pilophorus</i> species associated with myrmecophilous <i>Macaranga</i> trees from the Malay Peninsula and Borneo (Heteroptera: Miridae: Phylinae)	Y. Nakatani, T. Komatsu, T. Itino, U. Shimizu-kaya, T. Itioka, R. Hashim, S. Ueda	Tijdschrift voor Entomologie	156	113-126	2013
ニホンアマガエル(<i>Hylajaponica</i>)幼生(オタマジャクシ)の水稻用農薬数種に対する感受性	大津和久, 稲生圭哉, 大谷卓	環境毒性学会誌	16(2)	69-78	2013

ビッグデータ時代の環境科学-生物多様性分野におけるデータベース統合・横断利用の現状と課題	大澤剛士・神保宇嗣	統計数理	61	217-231	2013
携帯電話を利用した市民参加型生物調査の手法確立	大澤剛士, 山中武彦, 中谷至伸	保全生態学研究	18(2)	157-165	2013
Assessment on the rates and potentials of soil organic carbon sequestration in agricultural lands in Japan using a process-based model and spatially explicit land-use change inventories – Part 1: Historical trend and validation based on nation-wide soil monitoring	Y. Yagasaki, Y. Shirato	BIOGEOSCIENCES	11	4429-4442	2014
Assessment on the rates and potentials of soil organic carbon sequestration in agricultural lands in Japan using a process-based model and spatially explicit land-use change inventories ? Part 2: Future potentials	Y. Yagasaki, Y. Shirato	BIOGEOSCIENCES	11	4443-4457	2014
Quantifying effects of legal and non-legal designations of alien plant species on their control and profile	Takafumi Ohsawa, Takeshi Osawa	BIOLOGICAL INVASIONS	16 (12)	2669-2680	2014
New approach for evaluating habitat stability using scarce records for both historical and contemporary specimens: A case study using Carabidae specimen records	Takeshi Osawa, Kyohei Watanabe, Hiroaki Ikeda, Shori Yamamoto	Entomological Science	17(4)	425-431	2014
Arsenic distribution and speciation near rice roots influenced by iron plaques and redox conditions of the soil matrix	Noriko Yamaguchi, Toshiaki Ohkura, Yoshio Takahashi, Yuji Maejima, Tomohito Arao	ENVIRONMENTAL SCIENCE AND TECHNOLOGY	48(3)	1549 – 1556	2014
Soil organic carbon sequestration in upland soils of northern China under variable fertilizer management and climate change scenarios	Guiying Jiang, Minggang Xu, Xinhua He, Wenju Zhang, Shaomin Huang, Xueyun Yang, Hua Liu, Chang Peng, Yasuhito Shirato, Toshichika Iizumi, Jinzhou Wang and Daniel V. Murphy	GLOBAL BIOGEOCHEMICAL CYCLES	28(3)	319-333	2014
Seasonal carbon dynamics and the effects of manure application on carbon budget of a managed grassland in a temperate, humid region in Japan	Shoji Matsuura, Akira Miyata, Masayoshi Mano, Masayuki Hojito, Akinori Mori, Shunpei Kano, Hiroyuki Sakai, Kazunori Kohyama, Ryusuke Hatano	GRASSLAND SCIENCE	60(2)	76-91	2014
Herbivore pressure by weevils associated with flower color polymorphism in <i>Geranium thunbergii</i> (Geraniaceae)	Takashi Tsuchimatsu, Hiraku Yoshitake & Motomi Ito	Journal of Plant Research	127 (2)	265-273	2014

A difference in the genetic distribution pattern between the sexes in the Asian black bear	Naoki Ohnishi, Takeshi Osawa	MAMMAL STUDY	39(1)	11-16	2014
Plant species' coexistence relationships may shift according to life history traits and seasons	Takeshi Osawa, Hiromune Mitsuhashi, Atsushi Ushimaru	PLANT ECOLOGY	215 (6)	597-612	2014
Spatial prediction of radioactive Cs concentration in agricultural soil in eastern Japan	Yusuke TAKATA, Kazunori KOHYAMA, Hiroshi OBARA, Yuji MAEJIMA, Naoki ISHITSUKA, Takashi SAITO, Ichiro TANIYAMA	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	60(3)	393-403	2014
The iOS/Android application "e-Soil Map" for creating a new user-oriented soil map	Yushi OMOTE, Yusuke TAKATA	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	60(4)	470-474	2014
Taxonomic revision of the East Asian genus <i>Scleropteroides</i> Colonnelli, 1979 (Coleoptera, Curculionidae, Ceutorhynchinae)	Junhao Huang, Hiraku Yoshitake, Runzhi Zhang, Motomi Ito	ZOOKEYS	437	45-86	2014
Towards resolving a problem of the identity of the <i>Aethus</i> species (Hemiptera: Heteroptera: Cydnidae) occurring in Cambodia	JERZY A. LIS, BARBARA LIS, DARIUSZ J. ZIAJA, YUKINOBU NAKATANI	ZOOTAXA	3895 (3)	446-450	2014
南房総嶺岡山系における蛇紋岩および玄武岩に由来する土壌の生成・分類学的考察	前島勇治, 大倉利明, 楠本良延, 高田裕介	ペドロジスト	58(1)	2-16	2014
茨城県小貝川沖積低地の水分系列上の水田土壌断面の特徴と分類	小原洋, 前島勇治, 高田裕介, 大倉利明, レオン愛, 池羽正晴	ペドロジスト	58(1)	17-29	2014
農薬の定量的生態リスク評価における動態予測モデルの活用	稲生圭哉, 永井孝志, 岩崎亘典	環境科学会誌	27(4)	248-260	2014
日本国内における外来植物を扱う研究の現状と求められる課題	赤坂宗光, 斎藤達也, 大澤剛士, 黒川俊二, 水口亜樹, 下野嘉子, 西田智子	雑草研究	59(2)	81-92	2014
地理情報システム技術を用いた歴史生物地理学的解析	岩崎貴也, 阪口翔太, 横山良太, 高見泰興, 大澤剛士, 池田紘士, 陶山佳久	日本生態学会誌	64(3)	183-199	2014
土壌中の放射性物質の広域的な濃度分布調査とそのマッピング	神山和則	日本土壌肥科学雑誌	85(2)	73-76	2014
1/5万農耕地土壌図の包括的土壌分類第1次試案への読替え試行	若林正吉, 高田裕介, 神山和則, 小原洋	日本土壌肥科学雑誌	85(4)	349-357	2014
Additional information on DNA barcoding of the African armyworm, <i>Spodoptera exempta</i> (Walker) (Lepidoptera, Noctuidae) from Japan	Yoshimatsu, S., Watabiki, D., Nishioka, T., Nakamura, H., Yamaguchi, T., Takesaki, K., Shimatani, M., Uesato, T.	Lepidoptera Science	65(3)	89-93	2014

Taxonomic study of <i>Targalla delatrix</i> (Guen?e) and its close relatives from East and Southeast Asia with description of a new species (Lepidoptera: Euteliidae)	Watabiki, D., Yoshimatsu, S.	Lepidoptera Science	65(4)	158-178	2014
アラゲキクラゲを食害する2種のヤガ	吉松慎一・村上康明・ 前田由美	蝶と蛾	65	26-29	2014
Two new species of the genus <i>Morphogoides</i> Petersen (Lepidoptera, Tineidae) closely related to the shiitake fungus moth, <i>M. moriutii</i> , from Japan	Osada, Y., Yoshimatsu, S., Sakai, M., Hirowatari, T.	APPLIED ENTOMOLOGY AND ZOOLOGY	49(3)	375-383	2015
シナリオ分析に基づいた竹林の管理計画立案	宮崎祐子, 三橋弘宗, 大澤剛士	保全生態学研究	20(1)	3-14	2015
植生保護柵を利用したシカによる林床植生変化の早期検出	大澤剛士・井下原元・ 伊藤千陽・道又静香・ 杉山大樹	保全生態学研究	20(2)	167-179	2015
Development of a hazard map for oak wilt disease in Japan	Hiroshi Kondoh, Takehiko Yamanaka, Shoichi Saito, Etsuko Shoda-Kagaya, Shunichi Makino	AGRICULTURAL AND FOREST ENTOMOLOGY	17	205-213	2015
Are both agricultural intensification and farmland abandonment threats to biodiversity? A test with bird communities in paddy-dominated landscapes	Naoki Katayama, Takeshi Osawa, Tatsuya Amano, Yoshinobu Kusumoto	AGRICULTURE ECOSYSTEMS & ENVIRONMENT	214	21-30	2015
Differences in the spatial variability among CO ₂ , CH ₄ , and N ₂ O gas fluxes from an urban forest soil in Japan	Sonoko Dorothea Bellingrath-Kimura, Ayaka Wenhong Kishimoto-Mo, Noriko Oura, Seiko Sekikawa, Seichiro Yonemura, Shigeto Sudo, Atsushi Hayakawa, Kazunori Minamikawa, Yusuke Takata, Hiroshi Hara	AMBIO	44(1)	55-66	2015
A revision of the genus <i>Nemapogon</i> Schrank (Lepidoptera, Tineidae) including a stored grain pest, <i>N. granella</i> , from Japan	Yohei Osada, Yasuyuki Miyamoto, Makoto Sakai, Shin-ichi Yoshimatsu, Guo-Hua Huang, Toshiya Hirowatari	APPLIED ENTOMOLOGY AND ZOOLOGY	50(3)	297-309	2015
Comparison of insect invasions in North America, Japan and their Islands	Takehiko Yamanaka, Nobuo Morimoto, Gordon M. Nishida, Keizi Kiritani, Seiichi Moriya, Andrew M. Liebhold	BIOLOGICAL INVASIONS	17	3049-3061	2015
Effects of soil erosion and seabird activities on chemical properties of surface soils on an oceanic island in Ogasawara Islands, Japan	Syuntaro Hiradate, Sayaka Morita, Kenji Hata, Takeshi Osawa, Kyoko Sugai, Naoki Kachi	CATENA	133	495-502	2015

A Review of the Genus <i>Orchestomerus</i> Dietz (Coleoptera: Curculionidae: Ceutorhynchinae: Cnemogonini) of the USA	Hiraku YOSHITAKE, Robert S. ANDERSON	Coleopterists Bulletin	69(4)	565-578	2015
Insect species recorded in sugarcane fields of Khon Kaen Province Thailand, over three seasons in 2012	Itsarapong Voraphab, Yupa Hanboonsong, Youichi Kobori, Hiroaki Ikeda, Takeshi	ECOLOGICAL RESEARCH	30(3)	415	2015
5- and 10-km mesh datasets of agricultural land use based on governmental statistics for 1970-2005	Takeshi Osawa, Taku Kadoya, Kazunori Kohyama	ECOLOGICAL RESEARCH	30(5)	757	2015
Taxonomic Notes on the Genus <i>Coeliodes</i> SCHOENHERR from Continental China (Coleoptera, Curculionidae)	Hiraku YOSHITAKE, Junhao HUANG, Runzhi ZHANG, Motomi ITO	Elytra New Series	5(2)	505-513	2015
Revision of the lygaeid genus <i>Nysius</i> (Heteroptera: Lygaeidae: Orsillinae) of Japan, with description of a new species	Yukinobu Nakatani	ENTOMOLOGICAL SCIENCE	18(4)	435-441	2015
Importance of Farmland in Urbanized Areas as a Landscape Component for Barn wallows (<i>Hirundo rustica</i>) nesting on concrete buildings	Takeshi Osawa	ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	55	1160-1167	2015
Change in soil carbon in response to organic amendments in orchards and tea gardens in Japan	Ai Leon, Kazunori Kohyama, Yusuke Takata, Kazuyuki Yagi, Yoshiaki Umemiya, Toshiaki Ohkura, Hiroshi Obara	GEODERMA	237-238	168-175	2015
Development of human health damage factors related to CO2 emissions by considering future socioeconomic scenarios	Longlong Tang, Ryouta Ii, Koji Tokimatsu, Norihiro Itsubo	INTERNATIONAL JOURNAL OF LIFE CYCLE ASSESSMENT	doi:10.1007/s11367-015-0965-9		2015
Estimating land transformation area caused by nickel mining considering regional variation	Longlong Tang, Kenichi Nakajima, Shinsuke Murakami, Norihiro Itsubo, Takeshi Matsuda	INTERNATIONAL JOURNAL OF LIFE CYCLE ASSESSMENT	doi:10.1007/s11367-015-0987-3		2015
Development of human health damage factors for tropospheric ozone considering transboundary transport on a global scale	Longlong Tang, Tatsuya Nagashima, Kouichi Hasegawa, Toshimasa Ohara, Kengo Sudo, Norihiro Itsubo	INTERNATIONAL JOURNAL OF LIFE CYCLE ASSESSMENT	doi:10.1007/s11367-015-1001-9		2015
Records of Scarabaeoid Beetles from Ludao Is., Taiwan (Coleoptera: Scarabaeoidea)	Hirokazu KOBAYASHI, Kimio MASUMOTO, Kaoru SAKAI, Hiraku YOSHITAKE, Motomi ITO	Japanese Journal of Systematic Entomology	21(2)	367-372	2015

A new Hainokisaruzo (Coleoptera: Curculionidae) discovered from a Taiwan beech forest in Mt. Taipingshan, Taiwan	Hiraku YOSHITAKE, Sheng-Shan LU, Chi-Feng LEE, Motomi ITO	Japanese Journal of Systematic Entomology	21(2)	235-239	2015
Outline of the Comprehensive Soil Classification System of Japan - First Approximation	Hiroshi OBARA, Yuji MAEJIMA, Kazunori KOHYAMA, Toshiaki OHKURA, Yusuke TAKATA	JARQ-JAPAN AGRICULTURAL RESEARCH QUARTERLY	49(3)	217-226	2015
New distributional records for the plant bug genus, Cimidaeorus Hsiao and Ren (Hemiptera: Miridae: Deraeocorinae) from the Korean Peninsula	Ram Keshari Duwal, Tomohide Yasunaga, Yukinobu Nakatani, Seunghwan Lee	JOURNAL OF ASIA-PACIFIC ENTOMOLOGY	18(2)	249-251	2015
The effects of current water management practices on methane emissions in Japanese rice cultivation	Ai Leon, Kazunori Kohyama, Kazuyuki Yagi, Yusuke Takata, Hiroshi Obara	Mitigation and Adaptation Strategies for Global Change	-	1-14	2015
Burning management mediates the coexistence of plant species in a semi-natural grassland	Takeshi Osawa	Natureza & Conservacao	13	171-177	2015
Multi-site monitoring for N ₂ O emission factors of synthetic fertilizer in various soils with different redoximorphic features across Japan	Kazuya Nishina, Shigeto Sudo, Kazuyuki Yagi, Tomohito Sano, Yusuke Takata, Hiroshi Obara, Sadao Eguchi, Noriko Oura, Shinji Yano, Satoru Ohkoshi, Yutaka Fujita, Yutaka Shiratori, Masaki Tsuji, Hiroyuki Hasukawa, Yasufumi Suzue, Yasunao Yamada, Hiroyuki Mizukami, Ichiro Uezono	NUTRIENT CYCLING IN AGROECOSYSTEMS	103	doi:10.1007/s10705-015-9723-4	2015
A rapid method for constructing precaution maps based on a simple virtual ecology model: a case study on the range expansion of the invasive aquatic species <i>Limnoperna fortunei</i>	Takeshi Osawa, Kenji Ito	POPULATION ECOLOGY	57	529-538	2015
Multiple factors drive regional agricultural abandonment	Takeshi Osawa, Kazunori Kohyama, Hiromune Mitsuhashi	SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT	542	478-483	2015
Spatial prediction of radioactive Cs concentration in agricultural soil in eastern Japan	Yusuke TAKATA, Kazunori KOHYAMA, Hiroshi OBARA, Yuji MAEJIMA, Naoki ISHITSUKA, Takashi SAITO, Ichiro TANIYAMA	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	60(3)	393-403	2015

In situ short-term dynamics of CO2 flux and microbial biomass after simulated rainfall in dry croplands in four tropical and continental ecosystems	Soh SUGIHARA, Shinya FUNAKAWA, Atsunobu KADONO, Yusuke TAKATA, Kozue SAWADA, Kazumichi FUJII, Takashi KOSAKI	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	61(3)	392- 403	2015
Origin of the soil texture classification system used in Japan	Hirotsu MURANO, Yusuke TAKATA, Toshiyuki ISOI	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	61(4)	688- 697	2015
Additional species and records of the "horn-backed" Pilophorus plant bugs in Southeast Asia (Heteroptera: Miridae: Phyllinae)	Yukinobu Nakatani, Takashi Komatsu, Usun Shimizu-kaya, Takao Itioka, Takao Itino, Rosli Hashim, Shouhei Ueda, Wara Asfiya, Henny Herwina & Sri Hartini	Tijdschrift voor Entomologie	158		2015
The role of roads and urban area in occurrence of an ornamental invasive weed: a case of Rudbeckia laciniata L.	Munemitsu Akasaka, Takeshi Osawa, Makihiko Ikegami	Urban Ecosystems	18(3)	1021-	2015
Eradication of Invading Insect Populations: From Concepts to Applications	Andrew M. Liebhold, Ludek Berec, Eckehard G. Brockeroff, Rebecca S. Epanchin-Niell, Alan Hastings, Daniel A. Herms , John M. Kean, Deborah G McCullough, David M. Suckling, Patrick C. Tobin, Takehiko Yamanaka	ANNUAL REVIEW OF ENTOMOLOGY	61	335 - 352	2016
Global compositional variation among native and non-native regional insect assemblages emphasizes the importance of pathways	Andrew M. Liebhold, Takehiko Yamanaka, Alain Roques, Sylvie Augustin, Steven L. Chown, Eckehard G. Brockerhoff, Petr Pysek	BIOLOGICAL INVASIONS		in press	2016
Development of a method for estimating total CH4 emission from rice paddies in Japan using the DNDC-Rice model	Nobuko Katayanagi , Tamon Fumoto, Michiko Hayano, Yusuke Takata, Tsuneo Ku wagata, Yasuhito Shirato, Shinji Sawano, Masako Kajiura, Shigeto Sudo, Yasushi Ishigooka, Kazuyuki Yagi	SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT	547	429 - 440	2016
シイタケの新害虫ヨコハマセニジモンアツバ(チョウ目:ヤガ科)	吉松慎一・川島祐介	日本応用動物昆虫学会誌	60(1)	in press	2016
水田使用殺虫剤の用途別使用量の簡便な推定方法の開発	谷地俊二, 永井孝志, 稲生圭哉	日本農薬学会誌	41(2)	in press	2016

(2) その他の論文

表題	著者	雑誌名(出版元)	巻(号)	頁	発行年月
日本の土壌炭素賦存量を量・質の両面から考える	川東正幸, 高橋正, 藤井一至, 高橋正通, 三浦寛, 石塚成宏, 金子真司, 白戸康人, 矢ヶ崎泰海, 高田裕介, 和穎朗太, 岸本文紅, 米村正一郎, 平舘俊太郎, 渡邊眞紀子, 泉岳樹, 藤嶽暢英, 飯村健夫	日本土壌肥科学雑誌, (社)日本土壌肥科学会	83(3)	225-229	2012
LTER、GBIFにおける国際的な生物多様性データベースの動向と日本国内の課題	大澤剛士・鎌内宏光・細矢剛・伊藤元巳	国際ワークショップ参加報告, 日本生態学会誌	63(2)	269-273	2013
水稻根の酸化鉄被膜によるヒ素吸収制御	山口紀子, 大倉利明, 高橋嘉夫	Photon Factory Activity Report 2012, High Energy Accelerator Research Organization (KEK)	30		2013
農地土壌の放射性セシウム濃度分布図の作成	神山和則, 高田裕介, 小原洋, 谷山一郎, 齋藤隆	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	2-9	2013
農地土壌の放射性物質濃度分布の把握	高田裕介, 小原洋, 神山和則, 前島勇治, 牧野知之, 木方展治, 谷山一郎	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	34-37	2013
田畑輪換への土壌炭素動態モデルRothCの適用	白戸康人, 矢ヶ崎泰海, 西田瑞彦	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	38-39	2013
リン酸吸収係数を用いた汎用的な黒ボク土用改良RothC-263_vPAC)	高田裕介, 大倉利明, 神山和則, 小原洋, 白戸康人	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	40-41	2013
全国土壌温度図の作成と公開ー詳細な土壌温度図が「土壌情報閲覧システム」で閲覧できます	高田裕介, 小原洋, 神山和則, 桑形恒男.	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	42-43	2013
畑ワサビの害虫ゾウムシを新種として発表	吉武啓・藤沢 巧・後藤純子・千葉武勝	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	44-45	2013
東日本における農地土壌の放射性セシウム濃度分布	神山和則, 高田裕介, 小原洋, 谷山一郎, 齋藤隆	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	51-54	2013
農業環境技術研究所サシガメ科標本の目録化	中谷至伸・吉武啓・吉松慎一・石川忠	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	55-57	2013
海外土壌モノリスの収集状況	小原洋, 大倉利明, 高田裕介	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	11	70-73	2013
大東諸島で採集されたカミキリムシ類	槇原寛・吉武啓	さやばね, 日本昆虫学会	11	27-29	2013
青木淳一博士によって採集されたカミキリムシ類	槇原寛・吉武啓・中谷至伸・吉松慎一	さやばね, 日本昆虫学会	12	18-34	2013
ムモンチャイロホソバネカミキリの九州山地における古い記録	槇原寛・吉武啓	さやばね, 日本昆虫学会		60-61	2013

浜崎先生の思い出	小崎 隆志、久馬一剛、永塚鎮男、東 照雄、加藤好武、太田 健、田村憲司、井上 弦、小原洋	ペドロジスト, ペドロロジー学会	57	84-88	2013
わが国の土壌分類研究の現状と今後の課題	高田裕介	日本土壌肥科学雑誌, (一社)日本土壌肥科学会	84(3)	233-234	2013
農業環境技術研究所所蔵の日本産ミツギリゾウムシ科 (昆虫綱: コウチュウ目) 標本目録	吉武啓・中谷至伸・吉松慎一・田中絵里	農業環境技術研究所報告	32	1-10	2013
農業環境技術研究所所蔵のサンガメ科 (昆虫綱: カメムシ目) 標本目録	中谷至伸・吉武 啓・吉松慎一・石川忠	農業環境技術研究所報告	32	11-37	2013
農地土壌における放射性セシウムの詳細分布の把握と推定図の作成	高田裕介, 小原洋, 神山和則, 前島勇治, 牧野知之, 木方展治, 谷山一郎	平成23年度農林水産省関係放射能調査研究年報 農林水産省農林水産技術会議事務局技術政策課	-	14-107	2013
Identifying sources of river water nitrate using $\delta^{15}\text{N}$ and $\delta^{18}\text{O}$ values in an irrigated rice paddy watershed, Tsukuba, Japan	S.Yada, Y.Nakajima, T.Horio, K.Inao, S.Itahashi, K.Asada, S.Yoshikawa, S.Eguchi	2014 Dooge Nash Symposium Dublin Ireland	-	477-487	2014
Effect of organic matter application on soil carbon sequestration in Japanese agricultural land	Yasuhito Shirato	Journal of Intergrated Field Science Field Science Center Graduate School of Agricultural Science Tohoku University	11	39-42	2014
A List of new world weevils (Coleoptera: Curculionidae) intercepted at the Kobe plant protection station, Japan	Hiraku Yoshitake, Robert S. Anderson, Masaaki Genka	The Coleopterists Bulletin The Coleopterists Society	68(3)	628-630	2014
A taxonomic note on <i>Homorosoma horridulum</i> Voss, 1958 (Coleoptera: Curculionidae), with new records from Taiwan	BORISKOROTYAEV, HIRAKU YOSHITAKE, JUNHAOHUANG	ZOOTAXA MAGNOLIA PRESS	3786 (1)	99-100	2014
健康診断に基づく土壌病害管理(ヘソディム)のマニュアルの作成	對馬誠也, 吉田重信, 大澤剛士	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	12	22-27	2014
観葉植物ヘデラの害虫ゾウムシを新種として発表	吉武啓・宮原慎一郎・西野実・鈴木賢	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	12	3-4	2014
昆虫標本館へ最近寄贈されたタイプ標本	吉松慎一・中谷至伸・吉武啓	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	12	32-34	2014
研修会: 土壌調査法現地研修会	小原洋	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	12	40-41	2014
日本産カミキリムシの興味ある記録	槇原寛・吉武啓	さやばね, 日本昆虫学会	13	50-51	2014
沖縄島で採集されたシロスジカミキリ	槇原寛, 吉武啓	さやばねニューシリーズ, 日本甲虫学会		15	2014

書評「Bousquet, Y., Bouchard, P., Davies, A.E., Sikes, D.S., 2013 Checklist of Beetles (Coleoptera) of Canada and Alaska. Second Edition. Pensoft Series Faunistica, No 109. Pensoft Publishers, Sofia-Moscow. 402pp.」	吉武啓	さやばねニューシリーズ, 日本甲虫学会	14	56	2014
カナダ自然博物館の昆虫コレクションとその管理体制について	吉武啓	さやばねニューシリーズ, 日本甲虫学会	15	28-34	2014
ボルネオ島初記録のカミキリムシ科甲虫3種	榎原寛, 吉武啓	さやばねニューシリーズ, 日本甲虫学会	16	36-37	2014
宮城県における津波災害の過去と現在-仙台平野の土壌を中心として-	高橋正, 白戸康人	ペドロジスト, 日本ペドロジ学会	58(1)	30-31	2014
土壌情報の需要と供給	神山和則	ペドロジスト, 日本ペドロジ学会	58(1)	1	2014
1953年に東京で採集されていたセダカゴブヤハズカミキリ	榎原寛, 吉武啓	月刊むし, むし社	522	55	2014
輸入植物から発見されたゾウムシ類(コウチュウ目ゾウムシ上科)の分類群構成の変遷	源河正明, 吉武啓	植物防疫所調査研究報告, 農林水産省植物防疫所	50	17-46	2014
最新ICTを活用したナラ枯れリアルタイム被害発生予測システムの開発	山中武彦, 近藤洋史	森林防疫 全国森林病虫害防除協会	63(6)	36-39	2014
「オープンデータ」という考え方や生物多様性分野への適用に向けた課題	大澤剛士, 神保宇嗣, 岩崎亘典	日本生態学会誌	64(2)	153-162	2014
フィールドで土壌情報を利活用-スマートフォンアプリケーション「e-土壌図」の開発-土づくりとエコ農業	高田裕介, 表祐志	日本土壌協会	46(520)	26-31	2014
水田輪作の新しいフレームワークと土壌学・植物栄養学の展開方向6水田輪作と環境負荷	白戸康人, 西村誠一, 南川和則	日本土壌肥科学雑誌	85(6)	533-538	2014
書評「土壌生成分類学改訂増補版長塚鎮男著」	神山和則	日本土壌肥科学雑誌	85(6)	556	2014
フィールドで土壌情報を利用スマートフォン用アプリ「e-土壌図」の開発	高田裕介	農環研ニュース, (独)農業環境技術研究所	104	8-9	2014
農地集約と耕作放棄がポーランドの鳥類に及ぼす影響	大澤剛士	農業と環境, (独)農業環境技術研究所	166	-	2014
国連世界土壌デーと国際土壌年	八木一行, 高田裕介	農業と環境, (独)農業環境技術研究所	168	-	2014
e-土壌図に土壌有機物管理機能が追加された	高田裕介	農業と環境, (独)農業環境技術研究所	169	-	2014
農業環境技術研究所リサーチプロジェクト(RP)の紹介	吉松慎一	農業と環境, (独)農業環境技術研究所	172	-	2014
カナダ自然博物館(オタワ/ガティーン)に滞在して(在外研究報告)	吉武啓	農業と環境, (独)農業環境技術研究所	172	-	2014
農業からの温室効果ガス発生のメカニズムと軽減策	白戸康人	農耕と園藝, 誠文堂新光社	69(8)	62-65	2014

農地土壌の有機物管理による地力の維持増進と地球温暖化の緩和	白戸康人	ARDEC, 日本水土総合研究所	53	25-29	2015
Four new nitidulids (Coleoptera) for Ludao Is. Taiwan	Sadatomo HISAMATSU, Hiraku YOSHITAKE, Motomi ITO	Elytra New Series, 日本 甲虫学会	5(1)	121- 122	2015
Occurrence of Aegosoma sinicum in Sumatra Indonesia (Coleoptera Cerambycidae)	Hiroshi MAKIHARA, Hiraku YOSHITAKE	Elytra New Series, 日本 甲虫学会	5(1)	183- 184	2015
Records of six chrysomelids (Coleoptera) from Ludao Island Taiwan	Haruo TAKIZAWA, Hiraku YOSHITAKE, Motomi ITO	Elytra New Series, 日本 甲虫学会	5(2)	480- 482	2015
改めて土壌の大切さを見直そう	高田裕介	あおもり農業, 青森県農 業改良普及会	66(6)	84-86	2015
台湾・太平山で採集されたビロウドコガネ2種	小林裕和, 吉武啓, 伊藤 元己	さやばねニューシリー ズ, 日本甲虫学会	18	34	2015
緑島のカミキリムシ	槇原寛, 吉武啓, 山迫淳 介, 伊藤元己	さやばねニューシリー ズ, 日本甲虫学会	17	40-45	2015
台湾緑島で採集された歩行虫	寺田勝幸, 吉武啓, 伊藤 元己	さやばねニューシリー ズ, 日本甲虫学会	17	46-47	2015
農業を変えるサイエンス 農地の温室効果ガス吸排出を総合評価するウェブサイト	白戸康人	ニューカントリー, 北海 道協同組合通信社	738	42- 43	2015
オガサワラフトスジエダシャクの幼虫と蛹および寄主植物の追加記録	綿引大祐・吉松慎一	蛾類通信	276		2015
情報から生息適地を探る グリーン・パワー	大澤剛士	森林文化協会	-	28-28	2015
石垣島で灯火に集まったゾウムシ類	吉武啓	神奈川虫報, 神奈川昆 虫談話会	186	65- 66	2015
滋賀県立琵琶湖博物館所蔵の日本産ゾウムシ上科標本(江本健一コレクション) 目録(1) オサゾウムシ科 象鼻虫	吉武啓, 八尋克郎, 伊藤 元己	日本ゾウムシ情報ネット ワーク	10	-	2015
土壌情報を活用した土壌教育	高田裕介	日本土壌肥科学雑誌, 日本土壌肥科学会	86(3)	226- 231	2015
平成25年度における農地土壌の放射性物質濃度分布を公開	神山和則	農環研ニュース, (独)農 業環境技術研究所	105	12	2015
代表的な日本の農耕地土壌1 黒ボク土褐色森林土赤黄色土	小原洋	農環研ニュース, (独)農 業環境技術研究所	107	4	2015
泥炭土-有機物からできた脆弱な土壌	神山和則	農環研ニュース, (独)農 業環境技術研究所	108	3	2015
国際土壌年特集 代表的な日本の農耕地土壌2 低地土と有機質土	高田裕介	農環研ニュース, (独)農 業環境技術研究所	108	4	2015
「論文の紹介: 選択に異質性を持たせることが薬剤抵抗性の発達を遅らせる」	山中武彦	農業と環境, (独)農業 環境技術研究所	178	-	2015
土壌情報システムを利用した農業生態系の評価に関する研究	神山和則	農業と環境, (独)農業 環境技術研究所	188	-	2015

付録：研究成果の発表

農地表面層土壌中の放射性セシウム濃度分布図作成のための緊急調査	高田裕介, 神山和則, 小原洋, 前島勇治, 平舘俊太郎, 木方展治, 齋藤隆, 谷山一郎	農業環境技術研究所報告	34	43-51	2015
東日本の農地表面層土壌中の放射性セシウム濃度分布図の作成	高田裕介, 神山和則, 小原洋, 前島勇治, 石塚直樹, 齋藤隆, 谷山一郎	農業環境技術研究所報告	34	53-61	2015
2011年高濃度放射性セシウム汚染玄米発生の土壌要因	神山和則, 小原洋, 高田裕介, 齋藤隆, 佐藤睦人, 吉岡邦雄, 谷山一郎	農業環境技術研究所報告	34	63-73	2015
農業環境技術研究所所蔵の井上寛博士寄贈日本産メイガ類（昆虫綱：チョウ目）標本目録	吉松慎一・中谷至伸・吉武啓	農業環境技術研究所報告	34	101-142	2015
「土壌の写真集」－包括的土壌分類準拠	小原洋, 神山和則, 高田裕介, 大倉利明, 前島勇治	インベントリー(別冊), (独)農業環境技術研究所	別	1-101	2015
農地土壌の有機物管理による地力の維持増進と地球温暖化の緩和	白戸康人	JATAFFジャーナル			2016
土壌は産業や文化を支える重要な地域資源	村田智吉, 大倉利明	JOINT, トヨタ財団	14	16-17	2016
杉さんが残したもの（杉繁郎氏追悼文）	吉松慎一	蛾類通信			2016
環境科学分野における研究データのオープンデータ化の現状と課題	大澤剛士, 岩崎巨典	環境情報科学, (社)環境情報科学センター	44(4)	35-40	2016
土壌情報閲覧システムとe-土壌図	高田裕介	植調, (公財)日本植物調節剤研究協会	49(11)	1-6	2016
国際土壌年2015 記念シンポジウム「つち・とち・いのち～土のことを語ろう」開催報告	白戸康人	日本土壌肥科学雑誌, 日本土壌肥科学会	87	83	2016
論文紹介: 有機農産物と慣行農産物の環境影響の違いをLCAによって把握できるか?	湯龍龍	農業と環境, (独)農業環境技術研究所	189	-	2016
農業環境技術研究所所蔵の井上寛博士のシャクガ科（昆虫綱：チョウ目）コレクション目録	吉松慎一・綿引大祐・中谷至伸・吉武啓	農業環境技術研究所報告	35	in print	2016
農業環境技術研究所所蔵の宗林正人アブラムシ科（昆虫綱：カメムシ目）コレクション標本目録	中谷至伸・吉松慎一・吉武啓・宮崎昌久	農業環境技術研究所報告	35	in print	2016
包括的土壌分類第1次試案に基づいた1/20万日本土壌図	小原洋, 高田裕介, 神山和則, 大倉利明, 前島勇治, 若林正吉, 神田隆志	農業環境技術研究所報告	35	in print	2016
福島第一原発事故後の農地土壌における放射性セシウム濃度データセット（2011-2014年）	神山和則, 高田裕介, 小原洋, 齋藤正明, 大越聡, 谷山一郎	農業環境技術研究所報告	35	in print	2016

(3) 口頭発表

表題	著者	雑誌名(出版元)	巻(号)	頁	発行年月
農地土壌中の放射性セシウム濃度分布図(2012年度版)の作成	高田裕介, 神山和則, 小原洋, 前島勇治, 斎藤正明, 谷山一郎	日本ペドロジー学会 2013年度大会講演要旨	-	51	2013
土壌の放射性セシウム固定力評価	山口紀子, 塚田祥文, 武田晃, 高田裕介, 神山和則, 谷山一郎	2013年度日本地球化学会第60回年会講演要旨集	-	216-217	2013
新たな県別土壌群別面積割合を利用した田への牛ふん堆肥割り当て可能量の推計	金澤健二, 高田裕介, 神山和則, 加藤直人	2013年度日本土壌肥化学会他学会関東支部大会講演要旨集	-	10	2013
Effects of organic matter applications on carbon sequestration and GHG emissions in an upland Andisol in Japan	Ayaka W. Kishimoto-Mo, Noriko Oura, Sadao Eguchi, Yasuhito Shirato, Seiichiro Yonemura	ASACSSA&SSSA International Annual Meetings	-	P1221	2013
Response of soil organic matter decomposition to experimental warming in a cultivated Andisol in Japan	Ayaka W. Kishimoto-Mo, Seiichiro Yonemura, Miyuki Kondo, Yasuhito Shirato, Rota Wagai, Masao Uchida	ICDC9 9th International Carbon Dioxide Conference	-	P289	2013
Areas of increasing agricultural abandonment overlap the distribution of previously common currently threatened plant species	Takeshi Osawa, Kaunori KOHYAMA	INTECOL 2013	-	SA2.4	2013
Areas of increasing agricultural abandonment overlap the distribution of previously common currently threatened plant species	Takeshi Osawa, Kazunori Kohyama, Hiromune Mitsuhashi	INTECOL2013	-	18-23	2013
Anthropogenic food resources affecting nutritional condition of brown bear in Hokkaido Japan	Mayura B. Takada, Yukari Shimizu, Tsutomu Mano, Hiroyuki Uno, Keita Fukasawa, Takeshi Osawa, Munemitsu Akasaka, Yoshikazu Sato	INTECOL2013	-	18-24	2013
Monitoring of soil carbon stock and soil management in Japanese agricultural land	Takata, Y., A. Leon, H. Obara	International Union of Soil Sciences Global Soil C Conference Abstracts	-	27-27	2013
changes in nutrient store in surface and subsurface soil layer under different cropping system	Mishima, S., Leon, A., Kimura, S. D., Eguchi, S., Shirato, Y., Obara, H.	PROCEEDINGS OF 11th International Conference The Ease and Southeast Asia Federation of Soil Science Societies	-	80	2013

A difference in the genetic distribution pattern between the sexes in the Asian black bear	Naoki Ohnishi, Takeshi Osawa	The 11th International Mammalogical Congress 2013	-	11-16	2013
河川における水稻用農薬の代謝分解物の挙動と生態毒性	岩船敬, 横山淳史, 永井孝志, 稲生圭哉, 堀尾剛, 岩崎亘典	環境科学会2013年会	-		2013
農薬の水域生態リスク評価における動態予測モデルの活用と今後の課題	稲生圭哉	環境科学会2013年会プログラム	-	192-193	2013
昆虫類の分類学的研究とDNAバーコーディング	吉武啓	第15回つくば大会講演要旨	12	S5-2	2013
"政策"にいかす研究と、"現場"にいかす研究	大澤剛士	第52回雑草学会大会	-		2013
南房総嶺岡山系における蛇紋岩と玄武岩に由来する土壌の遊離酸化鉄の形態および粘土鉱物組成	前島勇治, 大倉利明, 高田裕介	日本ペドロジー学会2013年度大会講演要旨集	-	39	2013
マレーシアのアリ植物から発見された背中に突起のあるヒョウタンカスミカメ7種(半翅目:カスミカメムシ科)	中谷至伸, 小松貴, 市野隆雄, 清水加耶, 市岡孝朗, Rosli Hashim, 上田昇平	日本昆虫学会第73回大会プログラム・講演要旨	-	35	2013
SWATの桜川流域への適用 -その2. 灌漑水路網および肥培管理の組み込みとその結果-	吉川省子, 朝田景, 箭田佐衣子, 堀尾剛, 稲生圭哉, 江口定夫	日本地球惑星科学連合2013年大会予稿集	-	AHW-30-002	2013
日本の農業生産に関するLC-CO ₂ eq. 評価 -第1報・1980年と2010年の養分フローと熱量生産-	三島慎一郎, 松八重一代, 木村園子ドロテア, 江口定夫, 白戸康人	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	1	2013
福島県内の異なる水田環境中における溶存態および懸濁能放射性セシウム濃度の変動要因	江口定夫, 吉川省子, 板橋直, 三島慎一郎, 坂口敦, 朝田景, 坂西研二, 木方展治, 井倉将人, 神山和則, 藤原英司, 山口紀子, 藤村恵人, 斎藤隆	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	10	2013
茨城県筑波山麓の水田集水域における窒素動態評価 -(1)灌漑期と非灌漑期における河川水中硝酸イオンの窒素および酸素安定同位体比-	箭田佐衣子, 中島泰弘, 堀尾剛, 稲生圭哉, 板橋直, 朝田景, 吉川省子, 江口定夫	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	15	2013
湛水状態の水田土壌と根近傍におけるCdの分布と形態	山口紀子, 橋本洋平, 大倉利明	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	33	2013
包括的土壌分類第1次試案に基づく東日本の非農耕地土壌の土壌分類	高田裕介, 若林正吉, 神田隆志, 大倉利明, 神山和則, 前島勇治, 小原洋	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	48	2013
包括的土壌分類第1次試案に基づく西日本の非農耕地土壌の土壌分類	神田隆志, 高田裕介, 大倉利明, 神山和則, 前島勇治, 小原洋	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	49	2013
包括的土壌分類第1次試案に基づく東日本の農耕地土壌図	若林正吉, 高田裕介, 神山和則, 小原洋	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	95	2013

農耕地土壌炭素モニタリング調査(定点調査)の2008-2012の結果について	小原洋,レオン愛,高田裕介,神山和則,白戸康人,大倉利明	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	95	2013
釧路湿原流域における養分負荷の推定	神山和則	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	169	2013
日本全国の農地の土壌炭素量の変化をシミュレーションする-(1)作物残渣および堆肥の投入量推定の方法の課題と影響-	白戸康人,矢ヶ崎泰海,レオン愛,三島慎一郎	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	184	2013
日本全国の農地の土壌炭素量の変化をシミュレーションする(2)-全国規模の土壌モニタリングデータを用いた予測システムの性能検証-	矢ヶ崎泰海,白戸康人	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	184	2013
東南アジア等における土壌の社会的啓発への取り組み	大倉利明	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	193	2013
Web上で土壌炭素を計算する「土壌のCO2吸収「見える化」サイト」	白戸康人,高田裕介,大澤剛士	日本土壌肥料学会講演要旨集	59	193	2013
フィールドで土壌情報を活用しよう!-e-土壌図の開発-	高田裕介,表祐志	日本土壌肥料学会講演要旨集	59		2013
パッシブサンプリング法による河川水中の農薬濃度と従来法の濃度との比較	矢吹芳教,相子伸之,永井孝志,稲生圭哉	日本陸水学会第78回大会講演要旨集	-	129	2013
アラゲキクラゲを食害する2種のヤガ(鱗翅目)	吉松慎一・村上康明・前田由美	日本甲虫学会第4回大会・日本昆虫学会関東支部第50回大会合同大会講演要旨集	-	9	2013
Targalla subocellata(ヤガ科:フサヤガ亜科)とその近縁種の分類学的研究?特に雄交尾器の観察方法の考察とDNA解析からの考察	綿引大祐・吉松慎一	日本甲虫学会第4回大会・日本昆虫学会関東支部第50回大会合同大会講演要旨集	-		2013
ネグロフサヤガTargalla delatrix(Guen?e)(ヤガ科;フサヤガ亜科)とその近縁種の分類学的研究	綿引大祐・吉松慎一	日本鱗翅学会第60回大会講演要旨	-	32	2013
日本で2010年に初めて害虫化したアフリカシロナヨウのその後の状況	吉松慎一・綿引大祐・上里卓己・島谷真幸	日本鱗翅学会第60回大会講演要旨	-	37	2013
前翅長が重複することが分かったノバヨトウとオオノバヨトウ(ヤガ科Tiracola属)の識別	綿引大祐・吉松慎一	日本昆虫学会第73回大会講演要旨	-	36	2014
利根川水系桜川流域の水・栄養塩動態解析-(1)包括土壌分類およびSolphyJデータを用いたSWATモデル-	吉川省子,箭田佐衣子,板橋直,朝田景,中島泰弘,稲生圭哉,堀尾剛,神山和則,江口定夫	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	8	2014
「土壌のCO2吸収「見える化」サイト」で温室効果ガスの総合評価が可能に	白戸康人,高田裕介,大澤剛士	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	178	2014
我が国で用いられているISSS法の土性および粒径区分について-ISSS法は国際法か?-	村野宏達,高田裕介,磯井俊行	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	179	2014

Estimation of radiocesium in/out flows in paddy fields in Fukushima, Japan	Seiko Yoshikawa, Eguchi Sadao, Itahashi Sunao, Igura Masato, Nobuharu Kihou, Shigeto Fujiwara, Takashi Saito, Hideshi Fujiwara, Shinichiro Mishima, Kazunori Kohyama, Noriko Yamaguchi, Ohkoshi Satoru	20th World Congress of Soil Science	-	O4-7	2014
Field and laboratory data reveal potential N ₂ O emission linking to decomposed CO ₂ and N Input	Ayaka W. Kishimoto, Noriko Oura, Seiichiro Yonemura, Sadao Eguchi, Yasuhito Shirato	20th World Congress of Soil Science	-	P1-40	2014
Development of N ₂ O Empirical Model Linking Decomposed CO ₂ and N Inputs for Estimating Annual N ₂ O Emission from Agricultural Soils in Japan	Ayaka W., Kishimoto-Mo, Yasuhito Shirato, Noriko Oura, Tomohito Sano, Shigeto Sudo, Shinichiro Mishima	ASACSSA & SSSA International Annual Meeting	-	P1629	2014
Introducing current progress in MIRSA-2 Project	Minamikawa Kazunori, Takayoshi Yamaguchi, Takeshi Tokida, Yusuke Takata, Shigeto Sudo, Kazuyuki Yagi	AsiaFlux Workshop 2014	-	37	2014
Life cycle assessment of environmental impacts of crop residue management and manure application in Japanese rice cultivation	Ai Leon, Yasuhito Shirato, Shinichi Yoshimatsu, Seiya Tsushima, Kazuyuki Yagi, Kazunori Kohyama	EcoBalance 2014 Abstract Book	-	29E3-1	2014
Management of pesticide resistance based on heterogeneous field management and type of pests	Takehiko Yamanaka, Yoshito Suzuki	ESA 62nd Annual Meeting	-	181	2014
Field data reveal potential N ₂ O emission linking to decomposed CO ₂ and N input	Ayaka W. Kishimoto-Mo, Noriko Oura, Yasuhito Shirato, Tomohito Sano, Shigeto Sudo	International Workshop on Agricultural GHG emissions-Workshop I "External databases and model of N ₂ O emissions by croplands: do we have what is needed to explore mitigation options?"	-	-	2014
Relationships between radiocesium interception potential (RIP) and soil properties	Noriko Yamaguchi, Yusuke Takata, Kazunori Kohyama, Hirofumi Tsukada, Akira Takeda, Ichiro Taniyama	The 20th world Congress of Soil Science	-	P1-14	2014

Factors affecting soil erosion on an oceanic island in Ogasawara, Japan: the effects of soil chemical properties and landscape	Syuntaro Hiradate, Sayaka Morita, Kenji Hata, Takeshi Osawa, Kyoko Sugai, Naoki Kachi	The 20th World Congress of Soil Science	-	O17-2	2014
Relationships between radiocesium interception potential (RIP) and soil properties	Noriko Yamaguchi, Yusuke Takata, Kazunori Kohyama, Hirofumi Tsukada, Akira Takeda, Ichiro Taniyama	The 20th world Congress of Soil Science	-	P1-14	2014
Nutrient cycling in Japanese agro-ecosystem in 1980 and 2010	Shinichiro Mishima, Kimura Sonoko Drothea, Sadao Eguchi, Yasuhito Shirato, Kazuyo Matsubae	The 20th World Congress of Soil Science	-	P2-503	2014
高解像度土地利用土地被覆図と現存植生図から集計した農地面積と農林統計値の比較	岡本勝男, 白戸康人	システム農学会2014年度秋季大会 in 京都	-	43-44	2014
Moth outbreak dynamics across Japan suggest evolution at the northern range limit	Takehiko Yamanaka, Yasushi Sato	第30会個体群生態学会大会プログラム・講演要旨集	-	17	2014
国内におけるシイタケ害虫 <i>Morophagoides</i> 属 (チョウ目ヒロズコガ科) 各種の形態・分子情報に基づく識別法について	長田庸平・吉松慎一・坂井誠・広渡俊哉、	第58回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨	-	158	2014
急速な進化はいつ起きる? 劣性遺伝子の突発的な顕在化	高橋大輔, 須藤正彬, 山中武彦	第62回日本生態学会	-		2014
日本の γ 多様性を最大化する: どの分類群と基準をもちいるか?	山中武彦, 大澤剛士, 二橋亮, 角谷拓, 望月淳, 池田浩明, 山本勝利	第62回日本生態学会	-		2014
殺虫剤抵抗性管理における害虫生活史形質の重要性	須藤正彬, 高橋大輔, 山中武彦	第62回日本生態学会	-		2014
包括的土壌分類第1次試案に基づく東日本の非農耕地土壌の土壌分類、	高田裕介、若林正吉、神田隆志、大倉利明、神山和則、前島勇治、小原 洋	日本ペドロジー学会 2014年度大会講演要旨集	-	48	2014
包括的土壌分類第1次試案に基づく西日本の非農耕地土壌の土壌分類	神田隆志, 高田裕介, 大倉利明, 神山和則, 前島勇治, 小原洋	日本ペドロジー学会 2014年度大会講演要旨集	-	49	2014
貯穀害虫コクガ <i>Nemapogongranella</i> (鱗翅目: ヒロズコガ科) とその近縁種~各種の識別法~	長田庸平・宮本泰行・坂井誠・吉松慎一・黄国華・広渡俊哉	日本環境動物昆虫学会 第26回年次大会	-	30	2014
農環研所蔵の井上寛博士の蛾類コレクションとその目録化	吉松慎一・中谷至伸・吉武啓	日本昆虫学会関東支部 第51回大会	-	II-12	2014
きわめて類似してヒメナガカメムシ属2種について(半翅目: マダラナガカメムシ科)	中谷至伸	日本昆虫学会第74回大会講演要旨集	-	29	2014
ベトナム産キョトウ (チョウ目ヤガ科) の分類学的再検討	吉松慎一	日本昆虫学会第74回大会講演要旨集	-	33	2014

付録：研究成果の発表

日本産オオヒロズコガ亜科およびコクガ亜科（チョウ目ヒロズコガ科）の分類と分子系統（予報）	長田庸平・黄国華・坂井誠・吉松慎一・宮本泰行・広渡俊哉	日本昆虫学会第74回大会講演要旨集	-	33	2014
耕作放棄地の立地解析	大澤剛士, 神山和則, 三橋弘宗	日本生態学会第61回全国大会	-	PB3-012	2014
1980年と2010年における日本の農業生産に関するマテリアルフロー解析	三島慎一郎, 松八重一代, 木村園子D, 江口定夫, 白戸康人	日本生態学会第61回全国大会	-	PB3-107	2014
データペーパー投稿経験者の体験談	大澤剛士	日本生態学会第61回大会	-		2014
水田の圃場整備と耕作放棄が鳥類個体数に与える影響	片山直樹・大澤剛士	日本生態学会第61回大会	-		2014
トクシマヤミサラグモ種群の種分化と交尾器進化	馬場友希, 大澤剛士, 吉武啓, 吉松慎一, 井原庸	日本生態学会第61回大会	-	137	2014
福島県内の立地の異なる水田における水および放射性セシウムの収支	吉川省子, 江口定夫, 板橋直, 井倉将人, 木方展治, 藤村恵人, 斎藤隆, 藤原英司, 神山和則, 山口紀子, 大越聡	日本地球惑星科学連合2014年大会講演要旨	-	AHE 28-10	2014
茨城県筑波山麓の水田集水域における窒素動態評価-(2)窒素および酸素安定同位体比を利用した河川水中硝酸イオンの起源推定-	箭田佐衣子, 中島泰弘, 堀尾剛, 稲生圭哉, 板橋直, 朝田景, 吉川省子, 江口定夫	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	6	2014
利根川水系桜川流域の水・栄養塩動態解析-(1)包括土壌分類およびSolphyJデータを用いたSWATモデル-	吉川省子, 箭田佐衣子, 板橋直, 朝田景, 中島泰弘, 稲生圭哉, 堀尾剛, 神山和則, 江口定夫	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	8	2014
農地土壌中の多量要素賦存量に関するデータベースの構築と運用例	三島慎一郎, レオン愛, 木村園子ドロテア, 松八重一代, 江口定夫, 白戸康人, 小原洋	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	9	2014
小笠原諸島・煤島に分布する土壌の特性と分類	平舘俊太郎, 大澤剛士, 可知直毅	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	84	2014
炭素蓄積を考慮した水稲栽培のライフサイクルアセスメント	レオン愛・白戸康人・吉松慎一・對馬誠也・神山和則	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	175	2014
「土壌のCO2吸収「見える化」サイト」で温室効果ガスの総合評価が可能に	白戸康人, 高田裕介, 大澤剛士	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	178	2014
広域的なデジタル土壌情報の整備とその利活用法に関する研究	高田裕介	日本土壌肥料学会講演要旨集	60	238	2014
パッシブサンプラーを用いた水域農薬モニタリングに及ぼす水温の影響	矢吹芳教, 相子伸之, 永井孝志, 稲生圭哉	日本農薬学会第39回大会	-		2014
ニホンアマガエル幼生(オタマジャクシ)の水稲用農薬に対する感受性-毒性試験結果と数理モデルによる田面水中の推定濃度との比較-	大津和久, 稲生圭哉, 大谷卓	日本農薬学会第39回大会講演要旨集	-	109	2014

PADDY-Large モデルを用いた茨城県桜川隆起での水稲用農薬の動態予測-流域内における農薬濃度の変動制とモデルによる予測精度-	稲生圭哉, 堀尾剛, 岩崎亘典, 横山淳史, 永井孝志, 依田育子	日本農薬学会第39回大会講演要旨集	-	161	2014
大阪府内を流下する石川流域におけるPOCISを用いた河川農薬モニタリング	矢吹芳教, 相子伸之, 永井孝志, 稲生圭哉	日本陸水学会第79回大会講演要旨集	-	175	2014
トクシマヤミサラグモ種群における種分化と交尾器進化	馬場友希・大澤剛士・吉武啓・吉松慎一・井原庸	日本生態学会講演要旨	-	PA3-008	2014
Climate change mitigation potential of Japanese agricultural soils estimated by countryscale simulation of soil carbon stock change and CH4 and N2O emissions	Yasuhito Shirato, Tamon Fumoto, Nobuko Katayanagi, Ayaka W. Kishimoto-Mo, Shinichirou Mishima	World Congress on Integrated Crop-Livestock-Forest Systems (WCCLF) and the 3rd International Symposium on Integrated Crop-Livestock Systems	-	28	2015
Managing Agricultural Greenhouse Gases Network (MAGGnet): Exploring Greenhouse Gas Mitigation Potential of Cropland Management Practices. , Meetings	Mark A. Liebig, Alan J. Franzluebbers, Jens Leifeld, Pier Paolo Roggero, Rene Dechow, Kristiina Regina, Yasuhito Shirato, Ayaka W. Kishimoto-Mo, Gervasio Pieiro	ASA CSSA and SSSA International Annual	-	79	2015
植物検疫のためのサツマイモ害虫ゾウムシの簡易同定技術の開発と情報データベースの構築へ向けて(予報)	吉武 啓	H27年度ゾウムシ研究会プログラム	-	2	2015
Radiocesium behavior in Japanese soils	N. Yamaguchi, H. Tsukada, K. Kohyama, Y. Takata, I. Taniyama	ICOBTE 2015 FUKUOKA ABSTRACT BOOK	-	067	2015
Radiocesium balance in mountainous paddy fields in Fukushima, Japan	S. Yoshikawa, S. Itahashi, M. Igura, N. Kihou, H. Fujihara, T. Saito, S. Okoshi, K. Kohyama, N. Yamaguchi, S. Eguchi	ICOBTE 2015 FUKUOKA ABSTRACT BOOK	-	252 - 252	2015
Application of SWAT model to predict the material dynamics in an agricultural watershed	Kayoko Ogura, Wang Chunying, Sadao Eguchi, Kazunori Kohyama, Noriko Yamaguchi, Kanta Kuramochi, Ryusuke Hatano	ICOBTE 2015 FUKUOKA ABSTRACT BOOK	-	390 - 390	2015
Estimating land transformation area related to global metal mining	Longlong Tang, Kenichi Nakajima, Shinsuke Murakami, Norihiro Itsubo Takeshi Matsuda	The World Resources Forum Asia-Pacific	-		2015

Insecticide-resistance management for various insect life histories: Is a mixture strategy always the best choice?	Masaaki Sudo, Daisuke Takahashi, Yoshito Suzuki, David A. Andow, Takehiko Yamanaka	アメリカ昆虫学会ポスター発表	-	D3435	2015
Which taxon what index we should measure for maximizing total γ -biodiversity in Japan?	Takehiko Yamanaka, Takeshi Osawa, Ryo Futahashi, Taku Kadoya, Atsushi Mochizuki, Hiroaki Ikeda, Shori Yamamoto	アメリカ生態学会口頭発表	-	259	2015
生態系機能から農地利用の目的を仕分ける	大澤剛士	第21回野生生物と社会学会	-	TS0802	2015
消毒剤散布が及ぼす土壌環境への影響、	高木敬彦、岩間茉莉奈、田邊梨紗、岩屋大志郎、杉田和俊、後藤純雄、大倉利明	第24回環境化学討論会要旨集	-	P136	2015
空間的・時間的アレンジによる薬剤抵抗性管理の有効性:モデルシミュレーションによる各害虫タイプに対する効果の検証	山中武彦, 須藤正彬, 鈴木芳人, 高橋大輔	第31回個体群生態学会	-	P14	2015
農地土壌におけるフォールアウト由来の放射性セシウム深度分布	井倉将人, 高田裕介	第4回環境放射能研究発表会講演要旨集	-	104	2015
日本および北米, ハワイにおける外来昆虫相とその定着年次, 原産地の比較	森本信生, 山中武彦, 桐谷圭治, 守屋成一	第59回日本応用動物昆虫学会	-	44	2015
小集会:殺虫剤作用機構談話会「進化生態学的アプローチから薬剤抵抗性管理を考える」	山中武彦, 須藤正彬, 高橋大輔, 鈴木芳人	第59回日本応用動物昆虫学会	-	206	2015
複数剤を有効に使った抵抗性管理:害虫生活史と薬剤施用形態の重要性,	須藤正彬, 高橋大輔, 山中武彦	第59回日本応用動物昆虫学会	-	124	2015
貯穀害虫コクガ(チョウ目ヒロズコガ科)とその近縁種の形態および分子情報に基づく識別法	長田庸平・宮本泰行・坂井誠・吉松慎一・黄国華・広渡俊哉	第59回日本応用動物昆虫学会大会	-	PS126	2015
わが国農地の土壌炭素ストック量の長期変動解析	高田裕介, レオン愛, 白戸康人, 神山和則, 小原洋	日本ペドロジー学会2015年度大会講演要旨集	-	15	2015
包括的土壌分類第1次試案に基づく北海道の非農耕地土壌の土壌分類	神田隆志, 高田裕介, 神山和則, 小原洋	日本ペドロジー学会2015年度大会講演要旨集	-	16	2015
我が国で用いられている土性および粒径区分の分類方法の由来について	村野宏達, 高田裕介, 磯井俊行	日本ペドロジー学会2015年度大会講演要旨集	-	21	2015
アメリカ大陸産Orchestomerus属(コウチュウ目ゾウムシ科)の分類学的再検討	吉武 啓, R. S. Anderson	日本昆虫学会第75回大会プログラム・講演要旨	-	40	2015
東南アジアのアリ共生植物オオバギに寄生する背中にトゲのあるヒョウタンカスミカメ属の3新種を新たに発見(半翅目:カスミカメムシ科)	中谷至伸, 小松貴, 清水加耶, 市岡考朗, Rosli Hashim, 上田昇平, 市野隆雄, Wara Asfiya, Sri Hartini, Henny Herwina	日本昆虫学会第75回大会講演要旨	-	48	2015

アリ植物に便乗するカスカメムシ類の系統および起源年代	小松貴, 上田昇平, 市岡孝朗, 清水加耶, 中谷至伸, Hashim R., 丸山宗利, 市野隆雄	日本昆虫学会第75回大会講演要旨	-		2015
農環研所蔵井上寛博士の蛾類コレクションのリスト化とそこから垣間見える大図鑑以降の分類学的変遷	吉松慎一・綿引大祐・中谷至伸・吉武啓	日本昆虫学会第75回大会講演要旨集	-	47	2015
キャベツバーティシリウム萎凋病の発病ポテンシャルマップの作成	池田健太郎, 大澤剛士, 酒井宏, 漆原寿彦, 加部武, 吉田重信, 對馬誠也	日本植物病理学会報	81(3)	262	2015
生態学的価値と社会・経済的価値の間に存在するギャップとそれを埋めるためにできること	大澤剛士, 上野裕介	日本生態学会第62回大会	-		2015
生物多様性に関する基盤情報整備と利活用に向けた取り組み-GBIF 日本ノード JBIF-	大澤剛士	日本地球惑星科学連合2015年大会講演要旨集	-	H-TT33-02	2015
Influence of feral goat and seabird activities on chemical properties of surface soils on an oceanic island in Japan	HIRADATE Syuntaro, MORITA Sayaka, HATA Kenji, OSAWA Takeshi, SUGAI Kyoko, KACHI Naoki	日本地球惑星科学連合2015年大会講演要旨集	-	M-IS03-05	2015
生物多様性に関する基盤情報整備と利活用に向けた取り組み-GBIF 日本ノード JBIF-	大澤剛士	日本長期生態学研究ネットワークJaLTER公開シンポジウム	-		2015
福島県内の不作付け農地及び農業流域からの放射性セシウムの流出実態	江口定夫, 吉川省子, 板橋直, 井倉将人, 神山和則, 平舘俊太郎, 楠本良延, 徳岡良則, 木方展治, 藤原英司, 山口紀子, 大越聡	日本土壌肥料学会講演要旨集	61	5	2015
包括的土壌分類第1次試案に基づく北海道土壌図の作成	神田隆志, 高田裕介, 神山和則, 小原洋	日本土壌肥料学会講演要旨集	61	5	2015
包括的土壌分類第1次試案に基づく東日本土壌図の作成	高田裕介, 若林正吉, 神田隆志, 前島勇治, 神山和則, 小原洋	日本土壌肥料学会講演要旨集	61	6	2015
包括的土壌分類第1次試案に基づく西日本土壌図の作成	高田裕介, 神田隆志, 神山和則, 前島勇治, 小原洋	日本土壌肥料学会講演要旨集	61	P5-1-7	2015
DNDC-Riceモデルを用いた日本の水田からのCH4総排出量推定	片柳薫子, 麓多門, 早野美智子, 高田裕介, 桑形恒男, レオン愛, 須藤重人, 白戸康人, 澤野真治, 石郷岡康史, 梶浦雅子, 八木一行	日本土壌肥料学会講演要旨集	61	8-2-20	2015
LCAを用いた水稻移植時期の環境影響評価	レオン愛, 白戸康人, 吉松慎一, 對馬誠也, 八木一行, 神山和則	日本土壌肥料学会講演要旨集	61	9	2015

付録：研究成果の発表

日本の農地における3つの温室効果ガスと化石燃料消費を合わせた温暖化緩和ポテンシャルの将来推計	白戸康人, 麓多門, 片柳薫子, 岸本文紅, 三島慎一郎	日本土壌肥料学会講演要旨集	61	8-2-18	2015
日本の農業生産に関するLC-CO ₂ eq. 評価 第2報・1980年と2010年の農作業に伴うCO ₂ 発生量の評価,	三島慎一郎, 片柳薫子, 木村園子, 岸本文紅, 白戸康人, 麓多門	日本土壌肥料学会講演要旨集	61	8-2-19	2015
水稲用農薬を対象とした河川水中予測濃度の地域変動性の解析	谷地俊二, 永井孝志, 岩崎亘典, 稲生圭哉, 横山淳史	日本農薬学会第40回記念大会 講演要旨集	-	106	2015
新たに発見したシイタケ菌床を食害するヤガ	吉松慎一・川島祐介	日本鱗翅学会第62回大会講演要旨集	-	22	2015
農業環境技術研究所所蔵の井上寛蛾類コレクション	吉松慎一・綿引大祐・中谷至伸・吉武啓	日本鱗翅学会第62回大会講演要旨集	-	60	2015
土壌保全制度論-フィリピンと中国の事例から	大倉利明, 村田智吉	平成27年度日本土壌肥料学会関東支部大会要旨集	-		2015
気候変動適応策の評価を志向した影響評価手法の開発	湯龍龍, 伊坪徳宏	第11回日本LCA学会研究発表会 プログラム	-	B3-08	2016
気候変動の緩和策と適応策を対象としたライフサイクル評価	伊坪徳宏, 湯龍龍, 小野雄也, 小関康雄, 正島宏一, 沖大幹	第11回日本LCA学会研究発表会 プログラム	-	B3-09	2016
農業のLCAにおける土地利用の影響評価方法の調査研究	湯龍龍, 神山和則, レオン愛, 伊坪徳宏	第11回日本LCA学会研究発表会 プログラム	-	P2-83	2016
殺虫剤抵抗性管理における討ち漏らしの功罪	須藤正彬・山中武彦	第60回日本応用動物昆虫学会	-	B201	2016
一般参加型生物調査の効率化と成功へ導く提案—トンボ携帯調査ゲーム	山中武彦・大澤剛士・中谷至伸・二橋亮・立田晴記	第60回日本応用動物昆虫学会	-	F412	2016
殺虫剤のローテーション散布は抵抗性発達を遅延させるか	須藤正彬・山中武彦・高橋大輔・鈴木芳人	第63回日本生態学会仙台大会	-		2016
生態学的データの空間的・分類群間偏りを解消するための取組み	大澤剛士	日本生態学会第63回全国大会	-		2016
稲箱施用殺虫剤(フィプロニル及びイミダクロプリド)のアキアカネ類幼生に対する感受性 —感受性の年次変動—	大津和久, 山中武彦	日本農薬学会第41回記念大会	-		2016
農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第6報 土壌吸着係数(Kd)の経時変化	元木裕, 岩船敬, 清家伸康, 稲生圭哉, 大谷卓	日本農薬学会第41回大会講演要旨集	-		2016
農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第11報 ほ場試験によるコマツナの土壌中農薬の吸収性評価	清家伸康, 元木裕, 並木小百合, 稲生圭哉, 岩船敬	日本農薬学会第41回大会講演要旨集	-		2016
農薬の後作物残留リスク評価に関する研究—第7報 ELISAによる土壌中の水抽出可能な農薬の簡易定量法および土壌診断への適用可能性	渡邊栄喜, 清家伸康, 元木裕, 稲生圭哉	日本農薬学会第41回大会講演要旨集	-		2016

(4) 主要成果

成 果	氏 名	年 度
水稲根を覆う鉄プラークによるヒ素の不溶化	山口紀子、荒尾知人、 前島勇治、大倉利明、 高橋嘉夫	2013
数理モデルによる水田のメタン排出量の全国評価	麓多門、早野美智子、 白戸康人、八木一行	2013
フィールドで土壌情報を簡単利用-iOS/Android用アプリ“e-土 壌図”の開発--スマホ・クラウド連携アプリ-	高田裕介、表祐志	2013
耕作放棄地のメッシュ地図化及び活用	大澤剛士、神山和則、 三橋弘宗	2013
標本情報を活用した生物環境変化の評価手法	大澤剛士	2013
次世代型土壌病害管理(ヘソディム)のためのマニュアル	大澤剛士	2013
ニホンアマガエル幼生の水稲用農薬に対する感受性	大津和久、稲生圭哉	2014
最新ICTを使った病害虫の効果的な防除手法の開発	山中武彦、近藤洋史	2014
包括的土壌分類第1次試案に基づいた1/20万日本土壌図	小原 洋、高田裕介、神 山和則、大倉利明、前 島勇治、若林正吉、神 田隆志	2015
日本と周辺諸島、北米、ハワイの外来昆虫相比較	山中武彦・森本信生	2015
農業環境情報カタログサイトNIAES VICの公開	大澤剛士	2015

(5) 所主催の研究会等

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	頁	発行 年月
Effect of organic matter application on soil carbon sequestration in Japanese agricultural land	Yasuhito Shirato	11th International Symposium of Integrated Field Science , Utilization of resources and Environmental Protection	48-52	2013
Estimation carbon sequestration potential of cropland management in Japanese arable soils with the Rothamsted carbon model	Shirato, Y., Y. Yagasaki	International Union of Soil Sciences Global Soil C Conference , Internaitonal Union of Soil Sciences	85	2013
The nitrogen load estimated by statistical model and SWAT model in Kushiro-shihtsugen watershed located on the eastern part of Hokkaido, Japan	Kaunori KOHYAMA	MARCO International Workshop 2013 Abstracts , MARCO	21	2013
Distribution of soil temperature and moisture in Japan using soil inventory and meteorological database	Takimoto Takahiro, Tsuneo Kuwagata, Jianqing Xu, Yusuke Takata	Green Network of Excellence environmental information Program and Abstracts , 文部科学省 大学発グリーンイノベーション創出事業「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス(GRENE)」環境情報分野	54	2014
Application of SWAT model on estimating water and solute movements in the Sakura River Basin Ibaraki Japan	Seiko Yoshikawa, Saeko Yada, Kei Asada, Sunao Itahashi, Yasuhiro Nakajima, Kazunori Kohyama, Sadao Eguchi	MARCO Satellite International Workshop 2015 International SWAT-Asia Conference IV, Program & Abstracts, 農業環境技術研究所	12	2014
Climate change mitigation and adaptation in Japanese agricultural sector	Yasuhito Shirato	Symposium on Policy and Research on Climate Change Adaptation and Mitigationin, Japan and Vietnam		2014
農業環境資源情報の蓄積とその発信	吉松慎一	農業環境技術研究所研究成果発表会2014講演要旨集	56	2014
我が国の農地土壌の性状と変化—長期モニタリングのとりまとめから—	小原洋	農業環境技術公開セミナー in 奈良 —悠久の地で「農業」と「環境」を考える—		2014

農地への土壌炭素貯留と温室効果ガスの削減のために	白戸康人	農林水産省平成26年度委託プロジェクト研究成果発表会「農業分野における気候変動への対応:これまでとこれから」平成26年度成果発表会	27-30	2014
わが国の農耕地土壌における肥沃度の実態－「定点調査」結果から見た全国的な状況について－	小原洋	平成26年度関東・東北支部「土づくり研究会」講演資料	-	2014
Applying SWAT Model to Estimate Water, Sediment, and Nutrient Movements in a Rice Paddy Watershed, Ibaraki, Japan	Seiko Yoshikawa, Kazunori Kohyama, Saeko Yada, kei Asada, Sunao Itahashi, Yasuhiro Nakajima, Sadao Eguchi	MARCO Satellite International Workshop 2015 International SWAT-Asia Conference IV, Program & Abstracts, 農業環境技術研究所	12	2015
Soil Carbon Sequestration and Greenhouse Gas mitigation in Agriculture	Yasuhito Shirato	MARCO Symposium 2015 Next Challenges of Agro-Environmental Research in Monsoon Asia PROGRAM and ABSTRACTS	33 - 35	2015
A New Soil Classification System and Soil Map for Conservation of Soil Resources in Japan	高田裕介, 神田隆志, Shokichi Wakabayashi, Yuji Maejima, Toshiaki Ohkura, Kazunori Kohyama, Hiroshi Obara	MARCO Symposium 2015 Next Challenges of Agro-Environmental Research in Monsoon Asia PROGRAM and ABSTRACTS	160-163	2015
農業分野の気候変動対策のためのデータベースの活用	桑形恒男, 長谷川利拡, 吉本真由美, 西森基貴, 石郷岡康史, 飯泉仁之直, 滝本貴弘, 須藤重人, 松浦江里, 高田裕介, 神山和則, 小原洋, 大澤剛士	平成27年度(独)農業環境技術研究所と消費・安全局農産安全管理課意見交換会	-	2015
農業活動の変化と生物多様性	池田浩明, 大澤剛士, 山中武彦, 山本勝利	環境省環境研究総合推進費新規戦略型課題S-9「アジア規模での生物多様性観測・評価・予測に関する総合的研究」公開講演会	2	2015
農環研におけるエコバランス評価の試み	レオン愛, 神山和則	第5回農業環境インベントリー研究会, (独)農業環境技術研究所	15-16	2015
新しい日本土壌図の作成:土壌情報をめぐる国際潮流への挑戦	高田裕介	第6回農業環境インベントリー研究会, (独)農業環境技術研究所	3-4	2016
農業環境研究における昆虫インベントリーの整備と今後の方向性	吉武 啓	第6回農業環境インベントリー研究会, (独)農業環境技術研究所	7-8	2016
ビッグデータ時代のインベントリー活用プラットフォーム	大澤剛士	第6回農業環境インベントリー研究会, (独)農業環境技術研究所	11-12	2016

付 録

研究協力・交流

(1) 国外での研究交流

平成26年度

氏名	出張国	活動内容	期間
山中武彦	カナダ	OECD国際共同研究プログラム フェローシップ	2013.11.15~2014.05.03
吉武啓	カナダ	自己派遣(カナダ自然史博物館における植食性ゾウムシ類の調査・研究及びコレクション管理システム、他機関との連携やアウトリーチプログラムに関する研修)	2013.11.18~2014.06.20
白戸康人	オランダ	農業分野の温室効果ガス温室効果ガスに関するグローバル・リサーチ・アライアンス(炭素窒素循環に関する横断的ワーキンググループ)会合	2014.06.13~2014.06.16
神山和則	台湾	MARCO-FFTC国際セミナー参加のため	2014.09.22~2014.09.26
大澤剛士	タイ	タイ国における自然史資料調査および共同研究打合せ	2014.09.28~2014.10.05
山中武彦	アメリカ	インベントリーデータを活用した日本生物多様性の評価モデル構築、外来生物根絶のための理論モデルの構築	2014.10.01~2014.10.05
山中武彦	アメリカ	2014年米昆虫学会参加	2014.11.15~2014.11.21
中谷至伸	ドイツ	ゼンケンベルグ・ドイツ昆虫学研究所(SDEI)におけるタイプ標本を含む昆虫標本の調査	2014.11.30~2014.12.07
吉武啓	ドイツ	ゼンケンベルグ・ドイツ昆虫学研究所(SDEI)におけるタイプ標本を含む昆虫標本の調査	2014.11.30~2014.12.07
大倉利明	ドイツ	生産局委託「平成26年度農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査(指導・とりまとめ業務)」における海外調査	2015.02.22~2015.02.25

平成27年度

大倉利明	タイ	アジア土壌パートナーシップ(ASP)専門家会合参加	2015.05.11~2015.05.15
湯龍龍	オーストラリア	World Resources Forum Asia-Pacific及びInternational Sustainability Symposiumにて循環型プログラム(PJ1、国際資源循環に対応した製品中資源生・有害性物質の適正管理)に係る成果発表	2015.05.30~2015.06.03

吉武啓	台湾	植食性甲虫類の標本および分布・生態情報の収集を目的とする台湾の農業生態系における野外調査	2015.06.26～2015.07.09
白戸康人	ブラジル	農牧林統合システム世界会議及び農業分野の温室効果ガスに関するGRA(農地研究グループ)会合	2015.07.09～2015.07.20
大澤剛士	タイ	タイ国における自然史資料調査および共同研究打合せ	2015.07.27～2015.08.02
大倉利明	フィリピン	フィリピン国内の土壤保全に係る法制度の調査	2015.08.02～2015.08.08
山中武彦	アメリカ	2015年アメリカ生態学会参加	2015.08.08～2015.08.16
吉武啓	アメリカ	アメリカ合衆国におけるブナ科植物関連のゾウムシ相調査	2015.08.12～2015.08.23
大澤剛士	マダガスカル	地球規模生物多様性情報機構理事会出席及びGBIFアジアメンバー打合せ	2015.10.03～2015.10.13
吉武啓	台湾	台湾におけるサツマイモの害虫ゾウムシ類の標本および分布・生態情報の収集を目的とする野外調査	2015.10.12～2015.10.24
中谷至伸	台湾	台湾におけるサツマイモの害虫ゾウムシ類の標本および分布・生態情報の収集を目的とする野外調査	2015.10.12～2015.10.24
吉武啓	フィリピン	フィリピン・ミンダナオ島の農業環境とその周辺における昆虫相に関する研究打ち合わせと現地調査	2015.11.07～2015.11.17
須藤正彬	アメリカ	2015年米昆虫学会参加	2015.11.14～2015.11.20
中谷至伸	オランダ	QBOLにおける植物検疫システムの構築に関する情報収集及び意見交換	2015.11.25～2015.11.29
大倉利明	イタリア	地球土壤パートナーシップ(GSP)第4ピラーワークショップ「国際土壤情報機関ネットワーク設立」出席	2015.12.07～2015.12.12
吉武啓	ドイツ、スウェーデン	ドレスデン動物学博物館とストックホルム自然史博物館におけるサツマイモの害虫ゾウムシ類のタイプ標本調査	2016.02.01～2016.02.19
大倉利明	タイ	タイ国内の土壤保全に係る法制度と現地実態調査	2016.03.13～2016.03.19

(2) 依頼研究員

平成26年度

氏名	所属	研究課題	期間
依頼研究員	石山佳幸	長野県野菜花き試験場 環境部 技師	PCR-DGGE法を核とした 土壌微生物相解析手法習得

(3) 技術講習生

平成26年度

氏名	所属	研究課題	期間
岡野良祐	愛媛大学大学院農学研究科修士課程1年	ツチハンミョウ類（コウチュウ目） 標本の同定	2014.08.26～2014.08.27
川田宏史	群馬県農業技術センター	土壌試料の粒径組成分析法及び粘土 鉱物のX線回折分析用試料の調製	2015.03.16～2015.03.20
齋藤祐一	群馬県農業技術センター	土壌試料の粒径組成分析法及び粘土 鉱物のX線回折分析用試料の調製	2015.03.16～2015.03.20

平成27年度

綿引大祐	東京農業大学大学院農学研究科	チョウ目ヤガ上科の分類技術の習得 のため	2015.05.25～2016.03.31
Analyn Anzano Cabras	ミンダナオ大学	ゾウムシ類(昆虫綱コウチュウ目)の同 定技術の習得	2016.03.19～2016.03.30

(4) 特任研究員

氏名	所属	期間
菅原秀明	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所生命情報・DDBJ研究センター 特任教員	2013.04.01～2015.03.31

(6) 講師派遣等

平成26年度

氏名	講師派遣の内容	依頼者	期間
對馬誠也	東京農業大学客員教授	東京農業大学	2013.04.01～2014.03.31
對馬誠也	兼任講師	法政大学	2014.04.01～2014.09.30

吉松慎一	東京農業大学客員教授	学校法人東京農業大学	2013.04.01~2014.03.31
白戸康人	非常勤講師	東京農工大学農学府・農学部	2014.04.01~2014.09.30
大澤剛士	非常勤講師	首都大学東京	2015.01.01~2015.03.31

平成27年度

氏名	講師派遣の内容	依頼者	期間
對馬誠也	東京農業大学客員教授	東京農業大学	2015.05.01~2016.03.31
吉松慎一	東京農業大学客員教授	学校法人東京農業大学	2015.04.01~2016.03.31
白戸康人	非常勤講師	東京農工大学農学府・農学部	2014.04.01~2014.09.30
大倉利明	非常勤講師	茨城大学	2015.11.30~2015.11.30
大澤剛士	非常勤講師	首都大学東京	2015.01.01~2015.03.31
大澤剛士	非常勤講師	東邦大学	2015.03.24~2016.03.31
湯 龍龍	東京理科大学	東京理科大学非常勤講師	2015.09.01~2016.03.31

(7) 外部委員会委員等

氏名	委嘱・応嘱先	委嘱・応嘱名	期間
山本勝利	環境省	平成27年度生物多様性及び生態系サービスの総合評価の検討会委員	2015.06.30~2016.03.10
神山和則 小原 洋 大倉利明 高田裕介	農林水産省消費安全局(農産安全管理課)	平成27年度水田土壌中ヒ素含有実態調査に係る土壌採取検討会講師	2015.06.04~2015.06.05
神山和則	農林水産研修所つくば館	農水省職員 採用者研修	2015.04.20~2015.04.21
大倉利明	農林水産省生産局	FAO-地球土壌パートナーシップ	2015.12.07~2015.12.12
大倉利明	つくば市ジオパーク推進協議会事務局	筑波山地域ジオパーク推進協議会「教育・学術部会」会員の委嘱	2015.04.01~2016.03.31
大倉利明	FAO	アジア土壌パートナーシップ事務局代理	2015.05.11~2015.05.15
高田裕介	FAO	Global Soil Partnership(ヒラ-5)活動計画	2014.01.04~2014.03.17
白戸康人	IPCC	IPCCガイドラインReview editor	2013.04.01~2014.10.20
白戸康人	農林水産省	農林水産省「農地基盤整備における有機資質材利活用に関する検討会(平成25年度)」委員	2014.02~2014.03.31

白戸康人	林野庁((独)森林総合研究所受託)	平成25年度森林吸収源インベントリ情報整備事業土壌等調査(指導取りまとめ業務)に関する検討委員会委員	2013.12.06～
白戸康人	環境省	平成25年度温室効果ガス排出量算定方法検討会森林等の吸収源分科会 委員	2014.01.21～
白戸康人	国土交通省都市局	「植生回復によるCO2吸収量算定手法に関する検討委員会」委員	2014.09.10～2015.03.20
稲生圭哉	環境省水・大気環境局	中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会専門委員	2013.03.18～2014.03
稲生圭哉	環境省水・大気環境局	水質環境基準健康項目等検討委員会委員	2013.12.06～
稲生圭哉	環境省水・大気環境局	水産動植物登録保留基準設定検討会検討委員	2013.05.07～
稲生圭哉	環境省水・大気局水環境課	平成27年度農薬の位置づけ等検討作業部会委員	2016.02～2016.03
稲生圭哉	環境省	農薬残留対策総合調査委託業務(環境省)検討会委員	2015.02.03～
稲生圭哉	環境省((研)国立環境研究所受託)	平成27年度水産動植物登録保留基準の運用・高度化検討会 委員	2015.10～2016.03.25
稲生圭哉	(一財)日本植物防疫協会 (公財)日本植物調節剤協会	環境残留試験委員会委員	2013.06.01～
大澤剛士	(独)国立科学博物館	地球規模生物多様性情報機構(GBIF)日本ノード運営委員会委員	2013.10.11～
吉武 啓	農林水産省横浜植物防疫所	平成27年度植物防疫官専門研修(害虫コース)の講師	2015.09.01～2015.09.04

(8) 学会委員

氏名	委嘱・応嘱先	委嘱・応嘱名	期間
山本勝利	農村計画学会	監事	2014.04.11～2016.04.09
山本勝利	環境情報科学センター	編集委員	2015.04.01～
白戸康人	日本学術会議	特任連携会員	2015.04.01～2016.03.31
白戸康人	日本土壌肥料学会	理事	2013.04.04～2016.03.31
白戸康人	日本土壌肥料学会	欧文誌編集委員	2013.10.01～2016.03.31
白戸康人	日本土壌肥料学会	国際土壌年企画委員	2014.08.02～2015.03.31
白戸康人	日本ペドロロジー学会	幹事	2013.04.01～2016.03.31
神山和則	日本ペドロロジー学会	日本ペドロロジー学会第5次分類・命名委員会委員	2013.01.21～
小原 洋	日本土壌肥料学会	副部門長	2015.10.01～2018.09.30
小原 洋	日本土壌肥料学会	欧文誌編集委員会委員	2015.10.01～2018.09.30
小原 洋	日本ペドロロジー学会	幹事	2012.04.01～2016.03.31
大倉利明	日本農学会	運営員会	2015.04.01～2016.03.31
大倉利明	日本ペドロロジー学会	幹事	2013.04.01～2014.03.31

大倉利明	日本ペドロロジー学会	国際対応幹事	2015.04.01~2017.03.31
高田裕介	日本ペドロロジー学会	日本ペドロロジー学会会計監査委員	2012.04.01~2014.03.31
高田裕介	日本ペドロロジー学会	会計担当幹事	2014.04.01~2016.03.31
高田裕介	日本土壌肥料学会	広報担当理事	2015.04.01~2017.03.31
高田裕介	日本ペドロロジー学会	会誌編集委員	2015.04.01~2018.03.31
高田裕介	日本ペドロロジー学会	分類命名委員会委員	2014.04.01~2016.03.31
稲生圭哉	日本農薬学会	農薬環境科学研究会委員	2013.04.01~2015.03.31
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	編集委員	2012.01~2015.12
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	学術用語委員	2011.04~2013.03
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	農林有害動物・昆虫名鑑web版編集委員	2013.05.13~2014.03.31
吉松慎一	日本鱗翅学会	「蝶と蛾」編集委員	2013.01~2015.12.31
吉松慎一	Journal of Asia-Pacific Entomology	編集委員	2013
中谷至伸	日本昆虫学会	電子化推進委員	2013.04.01~2014.12.31
吉武 啓	日本応用動物昆虫学会	農林有害動物・昆虫名鑑web版編集委員	2013.05.13~2014.03.31
山中武彦	個体群生態学会	編集委員	2014.04.01~2016.03.31
山中武彦	International Journal of Pest Management (IJPM)	編集委員	2014.04.01~2015.03.31
大澤剛士	日本生態学会	日本生態学会大会企画委員 運営部会	2012.04.01~2015.03.31
大澤剛士	日本生態学会	日本生態学会電子情報委員	2012.04.01~2016.03.31
大澤剛士	応用生態工学会	若手の会運営委員	2014.04.01~2016.03.31

(9) 同定依頼・技術相談等

年度	件 名	件 数
平成25年度 (2013年度)	土壌モノリス作製法・展示、土壌閲覧システムに関する相談	20
	土壌採取・分析法、手法に関する相談 (方法・手法に関する相談)	6
	土壌特性に関する相談 (分類・性質に関する相談)	16
	土壌関係取材	
	昆虫同定	9
	昆虫の学名・種名・文献等に関する相談	10
	昆虫標本に関する相談	11
	微生物の同定・解析法・文献などに関する相談	
	農薬の動態等に関する相談	3

平成26年度 (2014年度)	土壌モノリス作製法・展示、土壌閲覧システムに関する相談	20
	土壌採取・分析法、手法に関する相談（方法・手法に関する相談）	4
	土壌特性に関する相談（分類・性質に関する相談）	12
	土壌関係取材	4
	昆虫同定	9
	昆虫の学名・種名・文献等に関する相談	9
	昆虫標本に関する相談	10
	微生物の同定・解析法・文献などに関する相談	
	農薬の動態等に関する相談	1
平成27年度 (2015年度)	土壌モノリス作製法・展示、土壌閲覧システムに関する相談	7
	土壌採取・分析法、手法に関する相談（方法・手法に関する相談）	2
	土壌特性に関する相談（分類・性質に関する相談）	6
	土壌関係取材	12
	昆虫同定	12
	昆虫の学名・種名・文献等に関する相談	15
	昆虫標本に関する相談	7
	微生物の同定・解析法・文献などに関する相談	
	農薬の動態等に関する相談	
肥料試料、煙害資料等に関する相談	2	

付 録

在職者とその動き
(3ヶ月以上在籍者)

氏 名	職 名	期 間	備 考
對馬 誠也	センター長	21. 4. 1～27. 3.31	
山本 勝利	〃	27. 4. 1～	
神山 和則	上席研究員	18. 4. 1～	
小原 洋	上席研究員	19.10. 1～	
大倉 利明	主任研究員	18. 4. 1～	
高田 裕介	〃	21. 4. 1～	
大澤 剛士	〃	22. 4. 1～	
山中 武彦	〃	25. 4. 1～	
白戸 康人	上席研究員	20. 1. 1～	
稲生 圭哉	主任研究員	18. 4. 1～	
吉松 慎一	上席研究員	18. 4. 1～	
中谷 至伸	主任研究員	18. 4. 1～	
吉武 啓	主任研究員	20. 4. 1～	
湯 龍龍	任期付研究員	26. 4. 1～	
菅原 秀明	特任研究員	21. 5. 1～	
木村園子ト ^{ロア}	特任研究員	24. 9. 1～25. 3.31	
宮崎 昌久	名誉研究員	21. 4. 1～	
浜崎 忠雄	名誉研究員	21. 8.21～	
木代 玲子	補助員	18. 9.25～	
レオン 愛	農環研特別研究員	20. 6.25～	
齋藤 猛雄	契約研究員	18. 11.13～26. 9.30	
増田 康代	補助員	18. 4. 1～ 27. 2.28	
渡辺寿美子	〃	18. 4. 1～	
中村加代子	〃	20. 1.15～	
矢ヶ崎泰海	農環研特別研究員	21. 4. 1～26. 3.31	
倉松 晃子	補助員	20. 8. 1～	
井澤眞知子	〃	18. 4. 1～26. 12.31	
松下 裕子	契約研究員	21. 4. 1～	
丹羽理恵子	〃	25. 4. 1～	
黒瀬 大介	〃	25. 4. 1～26. 8.25	
田中 絵里	〃	23 4. 1～	
飯島 朋子	補助員	23. 9.15～	
綿引 大祐	教育研究研修生(農大)	24. 4. 1～	
長瀬 陽香	契約研究員	24. 4. 1～	
表 祐志	〃	24. 5. 1～26. 3.31	

付録：在職者とその動き

高野 美帆	補助員	24. 8. 1～	
神田 隆志	契約研究	25. 7. 1～	
松岡 寿興	補助員	25. 7. 1～	
陳村 理沙	農環研特別研究員	25. 10.16～26. 3.31	
塚本 麻緒	補助員	26. 5. 1～	
須藤 正彬	農環研特別研究員	26. 6.15～	
高橋 大輔	農環研特別研究員	26. 6.15～27. 4.30	
丸山 香里	補助員	27. 6.1～	
村田 和枝	〃	27. 7.1～	